

令和6年度

岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書

(令和5年度事務事業対象)

令和6年10月

岩出市教育委員会

はじめに

令和2年1月16日に国内で感染者が初めて確認され世界規模での感染拡大となった新型コロナウイルスは、令和5年5月8日に感染症法上の「5類」に変更されたことを受け、岩出市教育委員会では、令和5年度の事業実施にあたり、ウィズコロナからアフターコロナへの転換期として基本的な感染症対策を講じながら、コロナ禍前以上の成果を得られるよう、「学力向上と感染リスクを踏まえた教育活動の推進」を主要施策に掲げ、創意工夫を図りながら各種事業に取り組んだ1年となりました。

教育委員会では今回の点検・評価の結果を踏まえ、社会がどのように変化しようとも子供たちがふるさとへの誇りと愛着を持ち、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、そして、たくましく生きていくための健康や体力をバランス良く育むことに努めるとともに、市民誰もが主体的に学び続け、学びの成果が生かされる生涯学習社会の実現を目指し、市民から信頼される教育行政の推進に尽力してまいります。

令和6年10月

岩出市教育委員会

〔語の表記について〕

本紙では、「こども」の表記について事業名を除き、常用漢字表（平成22年内閣告示第2号）に基づき「子供」に統一しています。

目 次

I	岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について	
1	目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	実施方法について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	評価項目・内容について・・・・・・・・・・	1
4	点検・評価の経過・・・・・・・・・・	2
5	教育委員会評価委員・・・・・・・・・・	2
6	点検・評価結果	
	【教育総務課】	
(1)	学校環境の充実（教育環境の整備）.....	3
(2)	学校環境の充実（教育相談の充実）.....	5
(3)	学校環境の充実（家庭・地域との連携）.....	6
(4)	豊かな学びと学力向上（学力の向上）.....	7
(5)	豊かな学びと学力向上（心身の健全育成）.....	8
(6)	豊かな学びと学力向上（学校給食の充実）.....	9
(7)	青少年健全育成の推進（青少年を取り巻く環境整備）.....	11
(8)	青少年健全育成の推進（青少年の活動推進）.....	12
(9)	青少年健全育成の推進（自立と成長の促進）.....	13
(10)	国際化の推進（多文化共生の推進）.....	14
	【生涯学習課】	
(1)	学校環境の充実	16
(2)	青少年健全育成の推進	17
(3)	文化・芸術活動の推進	18
(4)	生涯学習の充実	19
(5)	生涯スポーツの推進	22

(6) 人権尊重の推進	24
(7) 文化遺産の保護・活用	25
(8) 歴史・伝統文化の振興	26

【岩出図書館】

(1) 図書館事業の充実（図書館運営事業）	28
(2) 図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）	30

【民俗資料館】

歴史・伝統文化の振興	32
------------	----

7 教育委員会の点検・評価シート

【教育総務課】

点検・評価シート	35
----------	----

【生涯学習課】

点検・評価シート	58
----------	----

【岩出図書館】

点検・評価シート	87
----------	----

【民俗資料館】

点検・評価シート	96
----------	----

II 関連資料

○令和6年度教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出について	100
○教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見	102
○岩出市教育委員会評価等実施要綱	105

I 岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、毎年、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的として実施する。

2 実施方法について

- (1) 教育委員会事務局の2課（教育総務課・生涯学習課）・2館（岩出図書館・民俗資料館）の令和5年度の主要な事務事業を抽出し、各事業について妥当性、効率性、有効性などについて自己評価を行う。
- (2) 評価委員に（1）の事務事業について、担当職員等が説明を行い、複数回意見をいただく。
- (3) 評価委員の意見をもとに教育委員会が評価を行い、PDCA¹、DLTG²、OODA³のマネジメントサイクルを適切に使い分け、今後の方針・施策に反映させ、継続的に事務改善を図る。
- (4) 法律に則り議会へ提出するとともに内容を公表（web）する。

3 評価項目・内容について

- (1) 各事業を、第3次岩出市長期総合計画に基づき【基本施策（重点施策）】ごとにまとめ、施策単位で点検・評価を実施する。構成は、〔基本方針〕〔主な取組状況〕〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕〔総合評価〕〔評価委員会の意見〕とする。別添で、各課・館毎に評価シートを作成する。
- (2) 評価については、4段階評価とする。
「a：期待以上」、「b：期待どおり」、「c：やや下回る」、「d：期待以下」
- (3) 今後の方向性については、4つの基準を示す。
「廃止」、「見直し」、「完了」、「継続」

¹ PDCA = 「Plan（計画）」「Do（行動）」「Check（確認）」「Action（実行）」
仮説・検証型プロセスを循環させ、マネジメントの品質を高める枠組

² DLTG = 「Do（行動）」「Look（観察）」「Think（考察）」「Grow（成長）」
実践と修正を細かく繰り返す枠組

³ OODA = 「Observe（観察）」「Orient（状況判断）」「Decide（意思決定）」「Action（実行）」
迅速かつ正しい意思決定を行うための枠組み

4 点検・評価の経過

年 月	会 議 等	内 容
令和6年 6月	事務事業評価（各課・館）	事務事業評価（自己評価）の実施
令和6年 7月	第1回 点検・評価委員会	各事務事業の説明 各事務事業に対する質問・意見
令和6年 8月	第2回 点検・評価委員会	各事務事業に対する意見のまとめ
令和6年10月	10月定例教育委員会	点検・評価報告書のまとめ
令和6年10月	点検・評価報告書を市議会に提出、web公表	

5 教育委員会評価委員

氏 名	任 期
村中 隆子	令和5年4月1日～令和7年3月31日
松田 晃作	令和5年4月1日～令和7年3月31日
大西 利雄	令和5年4月1日～令和7年3月31日

6 点検評価結果【教育総務課】

(1) 学校環境の充実（教育環境の整備）

〔基本方針〕

老朽化が進む学校施設の長寿命化を図るとともに、気温や感染症などの学校環境、通学時の安全確保、就学援助による経済的負担軽減など、児童生徒が安全で安心な学校生活が送れるよう、学校環境整備の充実を図る。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 小・中学校の施設整備については、長寿命化計画に基づき、計画通り下水道事業を実施、施設修繕については優先度をつけ、児童・生徒の安全確保及び耐用年数の延長を図った。

（工事实績）

小学校 16件、27,932,859円

中学校 8件、10,882,310円

- 通学路整備工事については、各学校より危険箇所の報告を受け、関係機関（学校、PTA、教育委員会、土木課、警察署、振興局）等の合同点検を実施し、改修工事を施工した。

（工事实績）

岡田地区通学路転落防止柵設置工事ほか10件 11,833,870円

- 教材・教具等の整備については、小・中学校から優先順位リストの提出を受け、教育委員会で精査し、効率的な整備ができ、児童生徒の学習意欲の向上及び教職員の指導効率化に寄与できた。

図書については、すべての小・中学校の蔵書数は標準冊数に達している。

（整備実績）

小・中教材備品計 2,368,229円

小・中理振備品計 1,209,615円

小・中図書購入計 7,372,481円

- 特別支援教育就学奨励費扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。

小学校：１３０名　　中学校：３３名

- 要保護・準要保護児童生徒扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。また、新入学用品費、修学旅行費の事前支給を行い、保護者負担の軽減に努めた。

小学校：３７６名（うち要保護１名）

中学校：２１５名（うち要保護１名）

- 紀の国緑育推進事業については、感染症の感染対策を講じ、全校で現地学習、事後学習を実施することができた。

- ・ 森林体験

参加児童数：４８３名　場所：日高川ふれあいドームほか

- ・ 森林学習（木工体験）

参加児童数：４８３名　場所：各小学校

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 小・中学校施設改修事業２事業については、評価委員からの指摘どおり、引き続き岩出市立学校施設長寿命化計画に基づく計画的な工事の実施と施設の老朽化に伴う学校からの要請に応じた修繕に迅速に対応できた。
- 通学路整備事業については、児童生徒の通学、帰宅時間帯に配慮し、安全・安心に通学できるよう効率的、効果的に取り組んだ。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（教育環境の整備）については、７事業の評価を実施し、７事業とも総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- ソフト・ハードの両面において、各事業の目的の実現に向け、計画どおり実施、また評価委員からの前年度指摘事項に対する取組を実施できた。

〔評価委員会の意見〕

- 引き続き学校施設の長寿命化に努められたい。
- 経済的理由により、教育を受ける環境等に差が生まれることがないよう支援の更なる充実を図られたい。支援にあたっては、国の要綱等に基づき的確な運用に努められたい。

(2) 学校環境の充実（教育相談の充実）

〔基本方針〕

心理的要因等により学校生活になじめず登校できない児童生徒（不登校児童生徒）の学校生活への復帰や社会的自立を目指し、適応指導教室（名称：フレンド）と在籍校及びスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどと連携し、教育相談の充実を図る。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 令和5年8月25日、フレンドを駅前ライブラリー2階に移転し、教室の拡大と機能充実を図った。

入室児童・生徒数：小学生10名、中学生10名（別途体験小学生4名、中学生9名）

延べ日数：小学生341日、中学生975日

来所相談件数：0件 電話相談件数：4件

学校への訪問：146件、学校からの訪問：137件

学校への電話連絡：168件、学校からの電話連絡：151件

家庭への電話：12件、家庭からの電話：31件

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 指摘のあった活動内容の充実への取組として、フレンドを駅前ライブラリー2階に移転。教室の拡大と機能充実を図った。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（教育相談の充実）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 適応指導教室事業については、年々増加傾向にある不登校児童生徒の解消に向け、通室児童生徒の在籍校との連携強化、個別状況の的確な把握、スクールカウンセラーによる保護者相談など総合的な対応が図れた。

〔評価委員会の意見〕

- フレンドの更なる支援の充実と合わせ、フレンドに通室する児童生徒以外の不登校児童生徒の実態把握に努められたい。

(3) 学校環境の充実（家庭・地域との連携）

〔基本方針〕

保護者や地域住民の学校教育活動への参加・参画を進め、地域に信頼される学校づくりを行う。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- コミュニティスクール事業については、市内全小・中学校8校にそれぞれ学校運営協議会を設置し前年度と同様の計98名の学校運営協議会委員を任命し、それぞれ年間3回実施した。

また各運営プランを円滑に実施するためのコミュニティスクール研修会を4校ずつ2回に分けて実施し、教員と地域住民の意見交換を行った。

- コミュニティスクール研修会

実施日 8月22日 参加者47名

教員と地域ボランティアの意見交換と相互理解する機会を設けることができた。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 2／13、2／20の2回に分けて4校ずつ岩出市学校運営協議会連絡協議会を実施。各校が抱える課題や悩みについて和歌山県CS（コミュニティスクール）マイスターを招聘し個別に助言をしてもらい、次年度の学校運営協議会の方針について協議する機会を設けた。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（家庭・地域との連携）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 学校や地域が抱える様々な課題を解決するため、学校と保護者や地域住民が連携するための機会を設けることができた。

〔評価委員会の意見〕

- 児童生徒及びその保護者の様々な課題の解消に向け、学校運営協議会委員と学校、教育行政がより情報共有、連携し取り組まれない。

(4) 豊かな学びと学力向上（学力の向上）

〔基本方針〕

これまでの教育実践に加えて、最先端のＩＣＴ教育を取り入れ、学校教育や学習体制において、児童生徒の新たな学びを創造し、情報活用能力の育成と併せ、確かな学力と生きる力の育成に取り組む。

また、その育成にあたる教員の指導力向上に向け、研修の実施等による支援に取り組む。

〔令和５年度の主な取組状況〕

- 教育情報化推進事業については、教育のＩＣＴ化に第１期岩出市教育情報化推進計画（H30～R4）の反省点を活かし、令和５年３月に第２期岩出市教育情報化推進計画（R5～R9）を策定した。

令和４年度に導入した学習ｅポータルの習熟度向上に向け、教職員向けの研修を実施し、ＩＣＴを活用した授業の指導力向上を図った。

- ・協働学習の際にＩＣＴを効果的に活用できる教員の割合 ６８．２％
- ・小学校事業実績額 ２，６０５，３５０円
- ・中学校事業実績額 ２，０９３，８５０円

- 学力向上実践研究事業については、ＲＳＴ（リーディングスキルテスト）研修を教師のみならず児童生徒まで拡大し、教員が読解力を構造的に理解することだけでなく、児童生徒自身が自己の課題解決へとつなげる機会を提供できた。

また中学校においては、先進校視察を実施。参加者で学んだことをとりまとめ、各校に持ち帰り共有を図った。

- ・小学校事業実績額 ４７３，５２０円
- ・中学校事業実績額 ２５７，０９０円

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 教育情報化推進事業については、学校間でばらつきのある児童生徒のＩＣＴ活用の向上に向け、新たに９人のロイロ認定ティーチャーが誕生し、市内すべての学校に配置できた。

- 学力向上実践研究事業については、指摘のとおり、令和5年度においても先進地研修（大阪府茨木市豊川中学校）を実施、児童生徒の学力向上及び教員の指導力向上に向け、各学校内での共有を行った。

〔総合評価〕

- ◎ 豊かな学びと学力向上(学力の向上)については、2事業の評価を実施し、総合評価は2事業とも「やや下回る」、今後の方向性は「継続」とした。
- 児童生徒の豊かな学びと学力向上に向け、ICTを効果的に活用できる教員の育成を進め、先進校視察を行い、その見地を各校で共有を図ったが、結果に結びつかず、専門性だけでなく、リーダー性を備えた教員の育成が急務である。

〔評価委員会の意見〕

- 教育でのICT活用の目的である「分かりやすい授業」「学習の効率化」「個別学習・協働学習のサポート」「情報活用能力の向上」「教員の校務における効率化」の実現に向け、教員の横のつながりを強め、活用方法や研修成果の共有と指導力向上に努められたい。
- ICTを活用した教育を進めるうえで、児童生徒に対し、情報社会で適正に活動するための基となる考え方や態度（情報モラル⁴）の指導に努められたい。

(5) 豊かな学びと学力向上（心身の健全育成）

〔基本方針〕

アスリートクラブ事業として陸上競技を通じ、児童の体力向上と心身の健全育成を図る。

⁴ 情報モラルとは、「他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつこと」、「危険回避など情報を正しく安全に利用できること」、「コンピュータなどの情報機器の使用による健康とのかかわりを理解すること」などが挙げられる。

〔令和５年度の主な取組状況〕

- 新型コロナウイルス感染症の感染対策として、検温・手指消毒等を講じながら、陸上競技を通じ、小学校３年生から６年生の児童の心身の健全育成に努めた。

実施回数：３０回 登録者数：２４２名

実施場所：中央小学校又は大宮緑地総合運動公園

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 指摘のあった活動内容の充実に向け、大宮緑地での記録会も４月から全学年で実施するなどにより活動日数は増加となったが、参加登録数、参加率の向上は達成できなかった。

〔総合評価〕

- ◎ 豊かな学びと学力向上（心身の健全育成）については、１事業の評価を実施し、総合評価は「やや下回る」、今後の方向性は「継続」とした。

活動参加率は、４５．２％と前年度から引き続き目標値の５０％を下回った。

- アスリートクラブ事業については、参加率が目標値を超えられない主要因として冬場の参加率が低いことが挙げられる。冬場の活動内容について研究を進め、課題である子供の基礎体力向上に努めていく。

〔評価委員会の意見〕

- コロナ禍による基礎体力低下は大きな課題であり、年間を通して運動する機会を創出するとともに陸上競技以外の種目も取り入れるなど創意工夫されたい。

（６）豊かな学びと学力向上（学校給食の充実）

〔基本方針〕

安全で安心な学校給食を提供するため、地元産の新鮮な食材を取り入れながら、栄養バランスの取れた学校給食の充実と郷土愛を育む。

また、学校給食費の完全徴収を目標に、児童手当からの徴収をはじめ、学校

と連携しながら学校給食の健全な運営に努める。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 施設整備において緊急修繕として高圧ケーブル取替工事を実施。
- 物価高騰の影響から食材の仕入れに苦勞した面もあったが、安心・安全な学校給食の提供に努めた。
 - ・ 地産地消率 60.6%（前年度対比△5.1%）
- 給食費の徴収については学校との連携により保護者懇談時を利用した納付交渉など地道な努力により、現年、滞繰とも前年度を上回る結果を得た。
 - ・ 徴収率 現年度分 99.69%（前年度対比+0.1%）
滞繰繰越分 84.88%（前年度対比+14.96%）

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 指摘事項であった「滞繰繰越分の早期解消」について、滞繰整理事務の厳格化を図り、滞繰繰越額の減額を果たした。
- 指摘事項であった「残渣を減らす課題に取り組まれない。」については、コロナ禍を終え、安定して給食を提供できたことに加え、栄養教諭を通じて配膳方法の指導（よそいきる）や児童生徒の季節ごとの体調の変化に応じ給食の量（具材は減らさず、水分を減らしたり）を調整するなどの取組を行った結果、残渣取引量は49,575ℓ（前年度対比△2,550ℓ）となった。

〔総合評価〕

- ◎ 豊かな学びと学力向上（学校給食の充実）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待通り」、今後の方向性は「継続」とした。
- 計画的な施設整備の実施及び衛生管理の徹底に努め、児童生徒に安心・安全でおいしい給食を提供できたものとする。
 - しかしながら、物価高騰の影響により献立の希望する食材確保が困難となっており、課題である。

〔評価委員会の意見〕

- 学校給食費が滞繰となった保護者に対し、税負担同様、応分の負担として厳格な対応で早期解消に努められたい。

(7) 青少年健全育成の推進（青少年を取り巻く環境整備）

〔基本方針〕

学校・家庭・地域及び行政が一体となり、子供たちが安心・安全に学校生活を送れるよう、青少年への犯罪防止に努める。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 登下校時の危険防止のため、児童携帯用防犯ブザー購入費を補助し、防犯ブザーの携帯を奨励した。

各家庭で入学前に個人で事前に購入するなど、申請率は高くない。

また防犯グッズの所持率は学年が上がるにつれ低くなっている。

- ・ 補助対象者 182名（前年度133名）
申請率36.8%（前年度32.0%）
- ・ 防犯ブザー所持率 小学生74.5%（前年度69.9%）
1年生88.1%（前年度85.7%）

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 児童を犯罪から保護するため、さらなる所持率の向上に向け、4月に教育委員会から防犯ブザーの所持方法と動作確認を促すチラシを全児童生徒に配布し、啓発を進めた。

〔総合評価〕

- ◎ 青少年健全育成の推進（青少年を取り巻く環境整備）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 防犯ブザー補助事業については、小学1年生の所持率は、3年連続で目標とする評価指数80%を超えることができた。引き続き所持を促すためにも本事業を今後も推進するとともに正しい携帯の仕方や点検の啓発を進めて行く。

〔評価委員会の意見〕

- 子供に防犯グッズを持たせて安心するだけでなく、日頃から電池切れや故障していないかなど保護者等による継続的なメンテナンスが必要なことも周知していくこと。

(8) 青少年健全育成の推進（青少年の活動推進）

〔基本方針〕

防災意識が高まる中、被災時には地域の救援活動の核となる中学生に対し、実践的な防災訓練を実施するとともに、家庭・学校・地域などで防災に関する啓発や指導のできる人材育成を目指す。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 中学校防災訓練については、災害への危機意識を高める授業の一環として、中学3年生全員を対象として、那賀消防組合、市消防団及び市危機管理室等の協力を得て実施した。

（参加状況）

岩出中学校：225名 岩出第二中学校：206名

- 防災ジュニアリーダー育成事業については、防災ジュニアリーダー育成講座を那賀消防組合で実施。

丁寧な指導のもと、防災の啓発・指導・実践活動ができるジュニアリーダーの育成が行われた。

（参加状況）

防災ジュニアリーダー育成講座 17名

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 指摘のあった「中学生の防災に対する意識の向上により災害時の危機意識を高める」ことについて、災害発生前の自助努力等に関する研修と併せ、視聴覚教材を用いた津波防災学習を実施し、津波への危機回避に対する意識の向上を図った。

〔総合評価〕

- ◎ 青少年健全育成の推進（青少年の活動推進）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 関係機関の協力のおかげで、コロナ禍で中止していた水消火器による消火訓練を実施することができた。
- 防災ジュニアリーダー育成事業の受講生アンケート結果から本事業に対する肯定的な回答を得られた。今後も内容を精選して地域防災活動における中心的な役割への意識づけを目指していく。

〔評価委員会の意見〕

- 防災ジュニアリーダー育成講座を通して学校管理下外や緊急時に臨機応変に対応できる行動力の育成に努められたい。

(9) 青少年健全育成の推進（自立と成長の促進）

〔基本方針〕

望ましい勤労観、職業観の育成のために、生徒が直接働く人と接し実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感させる。

また、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲を培うための教育活動として充実を図る。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 和歌山を元気にする職場体験事業については、基本的な感染症対策を講じつつ、各企業の受け入れによる職場体験を実施できた。

職場体験にあたっては、マナー教室の開催により社会規範やマナー等の必要性を、またPASカード（学年別進路適性診断システム）を使用することで、将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心、意欲を高め望むことができた。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 指摘のあった「職場体験を円滑に実施し、望ましい勤労観、職業観の育成に取り組まれたい。」について、実施できた。

体験受入事業社数 岩出中学校 76社 岩出第二中学校 93社

体験参加者数 岩出中学校 216名 岩出第二中学校 218名

〔総合評価〕

- ◎ 青少年健全育成の推進（自立と成長の促進）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待以上」、今後の方向性は「継続」とした。
- 令和5年5月以降、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行されたことから、4年振りに基本的な感染軽減策を講じながら、現地での職場体験が実施できた。

〔評価委員会の意見〕

- 職場体験を通して将来、社会人として自立できる力を育めるよう、一次産業を含む幅広い分野の職場体験先の確保に努められたい。

（10）国際化の推進（多文化共生の推進）

〔基本方針〕

近年の外国人観光客や外国人住民の増加により、日常生活において市民と外国人が関わる機会の増加が予想されることから、外国青年招致事業を実施し国際交流活動の推進、多文化共生社会を担う人材の育成に努めることで、お互いを認め合い暮らしやすいまちづくりに取り組む。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 中学校のALT⁵が任期満了により交代、小学校は1名増員による2名体制となり、計画どおり3名のALTを配置。各ALTが持つアイデンティティを活用し充実した授業を実施することができた。

⁵ 外国語指導助手。Assistant Language Teacher の略

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 指摘のあった「児童生徒の「英語を話せる力」の育成に努め、日常生活における市民と外国人が関わる機会の増加」に向け、小学校の授業日数の増加に取り組んだ。

〔総合評価〕

- ◎ 国際化の推進（多文化共生の推進）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 小学校ALTを1名増員し、小中学校でALTを活用した授業を効果的に実施できた。

〔評価委員会の意見〕

- 岩出市在住の外国人が増加している中、外国人と関わる機会が増えることへの備えとして、児童生徒がALTと多くの時間を過ごせるよう取り組まれない。

6 点検評価結果【生涯学習課】

(1) 学校環境の充実

〔基本方針〕

学校・家庭・地域が一体となって子供の育ちや学びを支えるため、学校支援、学習支援、校内環境整備など学校支援ボランティアによる取組を推進する。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 学校支援地域ボランティア活動事業については、ボランティアの募集を行うとともに、各小中学校における地域ボランティアによる授業補助や下校指導、農園整備、地域清掃などの活動を支援した。また、活動実績を見える化するため活動報告の提出方法を見直した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- ボランティア登録手続きを年度で区切らない自動更新に見直し、市の広報紙や市のウェブサイトも活用してボランティアの募集を行った。小・中学校合同地域清掃を実施し、学校間の交流を図った。また、学校や地域、学校間活動の取組状況を情報提供し連携強化を図った。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 学校支援地域ボランティア活動事業については、市内全ての小・中学校において活動を実施することができた。

〔評価委員会の意見〕

- 学校支援地域ボランティア活動事業については、人材の確保に努めるとともに、学校や地域、学校間の交流など引き続き活発な活動に取り組まれない。

(2) 青少年健全育成の推進

〔基本方針〕

青少年健全育成に関わる各種団体の活動の充実と各組織との連携強化に努め、家庭・学校・地域及び行政がそれぞれの果たす役割を明確にし、青少年を取り巻く様々な問題について取り組み、子供の育つ環境を守るとともに、地域社会を形成している大人に対しても、青少年の健全育成に対する意識の向上に努める。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 青少年健全育成事業については、青少年の非行・被害防止全国強調月間にあわせた講演会を開催したほか、青少年健全育成に関わる団体の活動を支援し、青少年育成市民会議では、青少年育成市民大会において、少年メッセージの発表や「絆」ポスター、育成会を表彰したほか、市内小学校対抗のスポレクフェスタの開催、街頭啓発、育成だより・育成通信の発行、地域活動連絡協議会では、ドッジボール大会、子ども・リーダー交流会や指導者研修会の開催などに取り組んだ。また、「あいさつ運動」や「子供安全パトロール隊」などの見守り活動を通じて子供たちの安全を守る環境づくりに取り組んだ。そのほか、青少年センターでは、青少年の健全育成と非行防止のため、不良行為の早期発見、早期指導、補導活動、少年相談、立ち直り支援などに取り組んだ。
- はたちのつどい事業については、はたちという人生の節目を迎える方々を励ますとともに、社会人としての自覚と地域への愛着心を育むために開催した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 青少年の健全育成を図るため、地域ぐるみの見守り活動や啓発活動、イベントの実施などに取り組んだ。

〔総合評価〕

- ◎ 青少年健全育成の推進については、2事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」2事業、今後の方向性は2事業すべて「継続」とした。

- 青少年健全育成事業については、関係団体や地域との協働で見守り活動やイベントを実施できた。
- はたちのつどい事業については、コロナ以前の規模で式典とイベントを開催することができた。

〔評価委員会の意見〕

- 青少年健全育成事業については、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、引き続き地域ぐるみの見守り活動や啓発活動、イベントの実施等、事業の充実を図られたい。

(3) 文化・芸術活動の推進

〔基本方針〕

文化・芸術活動の振興と普及を図るため、活動団体への支援に努めるとともに、文化・芸術にふれあい、理解と関心を高めるための作品展示や活動発表の機会提供に取り組む。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 文化協会助成事業については、市文化協会に対して助成金を交付した。
文化協会 33クラブ (596名)
- 文化祭事業については、コロナ以前の形で文化祭を開催し、作品展示や文化協会芸能部会、保育所の芸能発表を行った。
参加人数は、14,755名
- 公民館フェアは、あいあいセンターにおいて、ふれあいまつりと同時開催し、公民館利用団体等がロビーと小ホールでの作品展示や舞台発表を行った。

コンサート部門とギャラリー部門を合わせて1,859人の観覧があった。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 文化祭事業・公民館フェアについては、コロナ以前の形で実施し、多くの方に参加いただいた。

- 文化協会助成事業については、文化祭の作品展示に合わせてクラブ勧誘のチラシを掲示するなどして、新規会員の獲得に努めた。

〔総合評価〕

- ◎ 文化・芸術活動の推進については、3事業の評価を実施し、総合評価は、「期待以上」1事業、「期待どおり」2事業、今後の方向性は3事業すべて「継続」とした。
- 文化協会助成事業については、文化・芸術活動の振興と普及を図るために必要な事業であり、今後も各クラブの活動が活性化するように活動支援に努める。
- 文化祭事業・公民館フェアについては、ほぼコロナ以前の形で活動発表の機会を提供することができた。

〔評価委員会の意見〕

- 文化祭事業については、より多くの方、特に若い世代の方にも興味を持って参加してもらえるよう、内容の工夫に努められたい。

(4) 生涯学習の充実

〔基本方針〕

市民一人ひとり生きがいを持って、人生を送ることのできる活力あるまちづくりを進めるため、学習者の主体性を尊重し、「いつでも、どこでも、誰でも学べる」、「共に生き、共に学ぶ」ことができる環境づくりに努める。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 放課後子ども教室推進事業については、地域の方々の参画を得て、学習活動や文化活動、地域住民との交流活動に取り組んだ。新規教室として浴衣着付け教室を実施し、地域住民との交流及び体験の幅を広げることができた。
6小学校で85教室、参加児童延べ人数は2,270名
- 生涯学習を考えるつどい事業については、文化祭の前夜祭として「秋を彩る紅色コンサート～トリオの調べ～」を開催。

261名が来場。出演者が選曲にこだわり、様々な世代が楽しむことができるコンサートとなった。

- 公民館事業（ふれあい・成人・家庭教育）については、60歳以上対象のふれあい学級、18歳以上対象の成人講座、保育所等の保護者対象の家庭教育学級を実施。ニーズを把握し講座内容を充実させるため、参加者や保育所等にアンケートを実施した。

ふれあい学級は、10講座、参加者数は延べ1,640名

成人講座は、10講座、参加者数は延べ677名

家庭教育学級は、市内の保育所等10か所、参加者数は703名

- 公民館教室事業は、日常生活に活かせることや楽しく学び続けることができるものを選んで19種の教室を各地区公民館で開催（参加者数は269名）した。

- 公民館講座事業は、夏・冬休み中に子供向けの講座を、冬期に一般向けの講座、5年度より障害者対象講座を実施。

- ・夏のこども講座

「サマークッキング」を4回、「茶道体験教室」を3回（継続受講）開催し、参加者数は74名

- ・冬のこども講座

親子での「和菓子づくり教室」を全学年対象で2日間各2回開催し、参加者数は72組、158名

- ・冬の一般講座

「リラックスヨガ」を1回開催し、参加者数は19名

- ・障害者対象講座

書道講座2回、ヨガ講座2回、マカロニアート講座1回開催し、参加者数は45名

- 地区公民館運営事業については、根来地区公民館において空調設備改修工事を行うとともに、各地区公民館において必要な修繕を行い、施設設備の充実と機能の維持を図った。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 放課後子ども教室については、新規教室の実施や定員の増員を行うなど、子供の居場所の充実及び地域住民との交流を深めることができた。
- 講座や教室などの実施にあたっては、アンケートを実施するなど学習ニーズの把握に努め、講座の内容や実施回数、定員数を見直すなど内容の充実を図った。

〔総合評価〕

- ◎ 生涯学習の充実については、6事業の評価を実施し、総合評価は、「期待どおり」6事業で、今後の方向性は6事業すべて「継続」とした。
- 放課後子ども教室推進事業については、当初の計画どおり市内の全ての小学校で実施することができ、参加者数も目標を上回ることができた。
- 生涯学習を考えるつどい事業については、より豊かに充実した生活を送るための生涯学習機会を提供するために必要な事業であり、今後も実施する。
- 公民館事業（ふれあい・成人・家庭教育）・公民館教室事業・公民館講座事業については、世代やニーズに応じた学習の機会とふれあいの場を提供することができた。
- 地区公民館運営事業については、改修工事や修繕を行うことで施設の安全性と快適性の確保を図ることができた。

〔評価委員会の意見〕

- 放課後子ども教室については、引き続き安心・安全な子供の居場所の充実に努め、より多くの子供たちに参加してもらえるよう工夫されたい。
- 講座や教室については、引き続き市民のニーズを把握するとともに内容の充実に努め、より多くの方に参加いただけるよう工夫されたい。

(5) 生涯スポーツの推進

〔基本方針〕

市民一人ひとりがライフステージに応じた生涯スポーツ社会の実現に向け、スポーツを通じての体力づくり・健康づくりに親しむことができる環境づくりに努める。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 市民運動会事業については、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、4年ぶりに大宮緑地総合運動公園においてスポーツの日に開催した。

来場者数は6,650名

総合スポーツ大会は、市民の健康、体力の増進、競技力の向上等を目的に各体育協会の主導により9月～12月の間に開催した。

実施競技団体 6団体 グランドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー

- 市マラソン大会事業については、生涯スポーツの普及と振興を図り、健康・体力づくりを促進するとともに、観光拠点である「ねごろ歴史の丘」を舞台に岩出市の魅力を広くPRし、マラソン大会を開催した。

参加者数は1,163名、コスプレ16組

- スポーツ教室事業については、3歳の子供とその親対象の親子体操教室、20歳以上対象のヨガ教室・エアロビクス教室・ヘルスアップ教室、概ね50歳以上対象のウォーキング教室を実施した。

親子体操教室は、85名の参加

ヨガ教室は、43名の参加

エアロビクス教室は、34名の参加

ヘルスアップ教室は、18名の参加

ウォーキング教室は、10名の参加

また、スポーツ推進委員会や市民プールの指定管理者との連携により、ニュースポーツ教室の開催を実施した。

- スポーツ少年団助成事業及び体育協会助成事業については、スポーツ少年団と体育協会に対して助成金を交付した。また、スポーツ少年団の団員確保に向けて、昨年に引き続き「一日体験会」を実施した。

スポーツ少年団 17団

体育協会 20協会（49団体）

- 大会等選手派遣補助事業については、スポーツ少年団や体育協会に所属するチームや個人の大会出場に要する経費の一部を補助した。

全国大会16件、近畿大会4件、県大会1件の計21件

- スポーツ施設運営事業及びスポーツ施設整備事業については、総合体育館においてフリー開放を実施するとともに、体育施設の定期的な点検と必要な整備を行った。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 市民運動会事業において、市民の体力向上と交流を目的に「総合スポーツ大会」を開催した。
- スポーツ施設運営事業については、安全面の強化や快適に利用できるよう施設の修繕を行ったが、利用者数については、復調傾向にあるがコロナ禍前の利用者数には達していない。

〔総合評価〕

- ◎ 生涯スポーツの推進については、8事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」3事業、「やや下回る」5事業、今後の方向性は8事業すべて「継続」とした。
- 市民運動会事業については、市民へのスポーツ振興とレクリエーションの普及・浸透を図り、よりよい人間関係をはぐくむとともに、明朗・活発な人間育成に資するために必要な事業であり、今後も実施する。
- 市マラソン大会事業については、市民の健康・体力づくりの促進と本市の交流拠点となる根拠を広く周知することができた。
- スポーツ教室事業については、市民の健康・体力づくりとふれあいの場を提供することができた。今後も、地域スポーツ活動の活性化を図るため、市

民のニーズに応えられるようなニュースポーツの実施に取り組む。

- スポーツ少年団助成事業、体育協会助成事業及び大会等選手派遣補助事業については、スポーツ関係団体の育成と強化を図ることができた。
- スポーツ施設運営事業及びスポーツ施設整備事業については、定期点検と必要な工事や修繕を行うことで、体育施設の安全性と快適性の確保に努めることができた。

〔評価委員会の意見〕

- 市民運動会事業、総合スポーツ大会、市マラソン大会事業及びスポーツ教室事業については、引き続き市民のニーズの把握に努め、より多くの方に参加してもらえる内容となるよう工夫されたい。
- スポーツ施設運営事業については、施設の安全面を強化し快適に利用できるよう整備を行い、利用者数の増加に努められたい。

(6) 人権尊重の推進

〔基本方針〕

児童生徒への人権教育や家庭・学校・地域など幅広く市民の意識醸成につながる効果的な取組に努める。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 人権教育啓発事業については、講演会の開催や小・中学生の人権作文集の発行、人権ポスターの展示などを実施した。また、各小学校の人権教育時数に応じ、県補助金を活用した保護者学級を3小学校で開催した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 人権講演会では、例年女性の人権や子供の人権についての講演が多かったが、スポーツ少年団指導者協議会と共催し、東京パラリンピックに出場した講師を招き、スポーツに関する障害者の人権問題について講演いただいた。例年と違ったテーマで、関係団体と連携した啓発活動に取り組んだ。

〔総合評価〕

- ◎ 人権教育尊重の推進については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 人権教育啓発事業については、人権尊重の推進のために必要な事業であり、今後も講演会の開催や啓発活動等に取り組み、人権意識の高揚を図る。

〔評価委員会の意見〕

- 人権教育啓発事業については、人権尊重思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広めるため、引き続き様々なテーマでの講演会の開催や庁内関係部署、各種関係団体と連携した啓発活動に取り組まれない。
- 保護者学級について、積極的な実施に努められたい。

(7) 文化遺産の保護・活用

〔基本方針〕

根来寺境内に所在する文化遺産について、関係機関との連携を図りながら、保全・活用に取り組むとともに、地域の文化遺産についても保護・活用を図り、文化遺産の調査等で得られた資料を適切に保存整理し、公開できるよう努める。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 国史跡根来寺境内周辺保全管理事業については、根来寺本坊新築工事に伴う必要な措置等について、現地指導を実施するとともに、関係機関との協議や委員の指導助言を得ることができた。
- 文化遺産保存活用事業については、市内の指定文化財の維持、管理、修理等に要する経費への補助を行い、保存・活用を図るとともに、市が管理者並びに管理責任者となっている指定文化財の保護・保全を図るため、整備等に係る事業を実施した。

文化財保護審議会では、文化財の保存及び活用に関する事項について審議を行った。

この他、埋蔵文化財の公開・活用、文化遺産の普及啓発、講師等の派遣等の事業を実施することにより、文化財の普及啓発に努めた。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 絹本著色鳥羽天皇像^{けんぼんちゃくしよくとばてんのうぞう}の保存修理のほか、増田家住宅の防災施設小修理、上岩出神社の自動火災報知設備等交換、荒田神社の自動火災報知設備保守点検、福田家住宅の保存修理を文化財所有者と連携し、文化財の適切な保存管理を行った。

日本遺産公開講座を葛城修験でつながる4市町（紀の川市・かつらぎ町、橋本市、岩出市）で合同開催し、葛城修験の周知に努めた。また、民俗資料館や岩出図書館などと連携し、パネル展示や学習会などを実施した。

この他、小学校への出前授業を実施し、ふるさとの歴史学習を実施し文化遺産の普及・啓発に取り組んだ。

〔総合評価〕

- ◎ 文化遺産の保護・活用については、2事業の評価を実施し、総合評価は、「期待どおり」が2事業、今後の方向性は2事業「継続」とした。
- 国史跡根来寺境内周辺保全管理事業については、根来寺境内とその周辺の適切な保全を図ることができた。今後も史跡根来寺境内周辺保全管理委員の指導助言を参考に保全に努める。
- 文化遺産保存活用事業については、市内に所在する指定文化財の保護が図れた。今後も文化遺産の適切な保護と活用に努める。

〔評価委員会の意見〕

- 文化遺産保存活用事業については、引き続き文化財所有者や関係機関と連携を図り、文化財の保護に努められたい。文化遺産を活用した市民への普及・啓発については、これまでの事業をさらに充実させ実施していただきたい。

（８）歴史・伝統文化の振興

〔基本方針〕

本市の伝統文化である「根来の子守唄」を後世に伝えるため、保存・継承活動を支援するとともに、伝統文化の価値や魅力を発信する取組を行う。

〔令和５年度の主な取組状況〕

- 根来の子守唄等保存活用事業については、根来の子守唄保存会の活動を支援するため助成金を交付した。根来の子守唄保存会の会員数は２２名で、保存会の趣旨に沿った子守唄の伝承者の養成と活動の場の提供に努めた。

普及・啓発事業として、奈良県十津川村の大踊り保存会と根来の子守唄保存会との交流研修会を実施したほか、学校開放週間を利用して山崎北小学校での「ふるさと感動物語」の開催、根来小学校児童会主催の「児童会ふるさと根来音楽会」に積極的に参加し、根来の子守唄の普及に努めた。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 根来の子守唄保存会の活動を支援し、市と保存会などが協働で普及啓発事業を行うことができた。特に小学校へ積極的に出向き、ふるさとに古くから伝わる子守唄について児童に周知することができた。

〔総合評価〕

- ◎ 歴史・伝統文化の振興については、１事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 根来の子守唄等保存活用事業については、市の伝統文化である「根来の子守唄」などを継承するために必要な事業であり、今後もこれまでの実践を活かしながら伝統文化の保存・継承に努める。

〔評価委員会の意見〕

- 岩出市の文化資源である根来の子守唄を広く県内外に周知するため、子守唄普及啓発に引き続き努められたい。

6 点検評価結果【岩出図書館】

(1) 図書館事業の充実（図書館運営事業）

〔基本方針〕

市民の図書館に対する理解や関心を深め、図書館利用の促進を図るため、図書紹介、行事案内やサービス内容など様々な情報を発信するとともにイベント、講演会を開催する。

イベント開催、日常の図書館運営には、図書館ボランティアの協力が必要であり、ボランティア活動の活性化を図るため様々な支援を行う。

また、岩出図書館資料収集基準に基づき、公共図書館の役割、利用者各層の要求及び社会の動向を十分配慮して、広く市民の文化、教養、調査、研究、趣味、娯楽等に資するため、図書等を幅広く収集し、地域密着型図書館として、市民の身近にあって、「いつでも、どこでも、誰にでも」図書館サービスが受けられるよう努める。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 図書館利用促進事業については、映画会23回、体験教室8回、講演会3回、その他イベント（展示他）を25回実施した。

・令和5年度実績

入館者数 142,588名

貸出冊数 352,296点

貸出者数 99,763名

登録者数 39,029名

- 図書館ボランティア活動支援事業については、岩出図書館ボランティアは令和5年度末で75名の登録となった。図書館ボランティア養成講座として、「わらべうた講座」を2回開催した。

また、高校生ボランティアの受入については、那賀地方にある3校の高校だけでなく、広く募集したため、47名の応募があり、受入した。

さらに、大学生ボランティアを6名受入した。

- 図書等購入事業については、ほぼ計画通り資料を購入できた。できるだけ

利用者の要望に応えながら、資料の充実を図った。

図書購入実績

・一般図書	6, 0 5 9 冊
・児童図書	3, 5 7 7 冊
・参考図書	1 9 1 冊
計	9, 8 2 7 冊

視聴覚資料購入実績

・DVD	7 0 点
・CD	5 0 点
計	1 2 0 点

電子書籍 230ライセンス（230コンテンツ）

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 図書館のICT化については、図書館システムの更新を行い、Web利用者カードの導入や返却期限日お知らせメールの配信を開始し、利用者サービスの向上に努めた。

また令和5年9月30日から岩出図書館に自習席を整備したことに伴い、空席状況をWebOPAC⁶で確認できるようにし、利便性の向上に努めた。

〔総合評価〕

- ◎ 図書館運営事業については、3事業の評価を実施し、総合評価は3事業とも「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 図書館利用促進事業について、全館でみると入館者数・貸出冊数・貸出者数については前年度実績を上回ったが、目標値には達しなかった。
令和5年度においては、Web利用者カードの導入や返却期限日お知らせメールの配信を開始、自習席を整備し、利用者サービスの向上に努めた。
また、各種事業の定員数の拡大及び事前申込制をなくしたこと等により、概ね前年度実績を上回ることができた。今後、事業の周知方法について研究するとともに、魅力ある事業を実施し、新規参加者等の拡大に努める。
- 図書館ボランティアの新規登録者がなかなか増えない。一般の図書館ボランティアの増加を図るとともに、近隣の大学等に、学生ボランティアの募集

⁶ Online Public Access Catalog の略

インターネットを利用して、いつでも図書館にある蔵書の詳細や貸出状況などが閲覧できるシステム

を行う。

- 令和5年度末で、岩出図書館（分館・分室、電子書籍含む）の蔵書冊数は368,843冊となった。

〔評価委員会の意見〕

- 図書館事業の充実（図書館運営事業）について、図書館は身近な情報拠点として、市民への読書活動の振興を担っている。誰もが気軽に立ち寄れる居心地のよい空間づくり等利用環境の向上を図り、多様なニーズに対応した魅力ある事業及びサービスに努められたい。

（２）図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）

〔基本方針〕

学校・家庭・地域がそれぞれの機能を発揮し、子供が自主的に読書活動を行えるよう、学校や図書館などの関係機関、民間団体等と緊密に連携し、相互に協力しながら、子供の発達段階に応じた読書活動を積極的に推進する。また、図書館及び学校図書館の図書資料や施設・設備を充実し、子供の身近なところに読書のできる環境を整備するとともに、読書の意義や重要性について、市民の理解と関心を深める。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 子供の読書活動に関する様々なイベントや展示の実施、学校等の図書館見学・出前授業、学校へのブックリストや図書館イベント案内等の配付を行った。

図書館司書派遣事業では、市内小中学校に予定通り各37日学校司書を派遣できた。児童生徒への読み聞かせ、ブックトーク⁷、アニメーション⁸や授業で使用する図書の収集、調べ学習のサポート、ビブリオバトルに関する指導など、読書支援・学習支援を行った。

家族ふれあい読書推進事業では、市内の小中学生のうち配付対象学年の児童生徒に「うちどくノート」を配付するとともに、うちどく⁹の啓発のため、

⁷ あるテーマに沿って何冊かの本を順に紹介し、子供たちに紹介した本や読書への興味を持たせる方法・技術

⁸ 子供たちに楽しみながら「読む力」を体得させる活動

⁹ うちどく＝家での読書

おすすめの図書のリストから出題する「うちどくクイズ」や「うちどくの記録」の展示を実施した。また、読み聞かせ等家庭での読書習慣の大切さや興味をもってもらえるような図書館サービスを紹介し、小学校の就学時健診の際に、図書館職員が各小学校に出向き、保護者への啓発を直接行った。

親子読書支援事業では、1歳8か月児健康診査対象者に図書館への案内状を配付し、来館者には親子での読書（読み聞かせ）を支援するトートバックに入れた絵本のプレゼント、ブックリストの配付を行った。また、読書相談に応じるとともに、図書館利用カード作成やおはなし会等の案内を行った。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

- 令和5年度において、子供読書にかかる事業については「おはなし室の開放」「書架の増設」「自習席の設置」等を行った。今後も子供の読書活動及び図書館利用の活性化を図っていく。

〔総合評価〕

- ◎ 子供読書活動推進事業については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 学校の図書館見学・出前授業については、令和5年度も全ての小学校に対して図書館見学の受入もしくは出前授業を実施することができた。

親子読書支援事業では、1歳8か月児健康診査の対象者に岩出図書館に来館してもらい、プレゼントの絵本の受け渡しや利用カードの作成、読書相談を行っていたが、1歳8か月健診当日に総合保健福祉センター図書室でも受取可能としたところ、来館者が増加した。

第4次岩出市子供読書活動推進計画に基づき、教育総務課、学校、子ども家庭課、保育所、子育て支援センター、図書館ボランティア等と連携協力し、子供読書活動の推進に努める。

〔評価委員会の意見〕

- 図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）については、子供が読書への関心を高められるような活動や読書に親しみやすい講座及び体験活動等と連動した取組等の充実に努められたい。また子供自身が自ら進んで読書を行っていくことができるよう、さらなる読書活動の推進を図られたい。

6 点検評価結果【民俗資料館】

(1) 歴史・伝統文化の振興

〔基本方針〕

歴史・文化などの地域情報の提供を行うため、施設整備や資料収集に取り組み展覧事業等の充実を図り、歴史・伝統文化の振興に努める。

講演会や歴史講座、歴史学習会を開催することで、郷土の歴史や成り立ちについて学べる郷土学習の支援に努める。

〔令和5年度の主な取組状況〕

- 民俗資料館展覧事業では、収集資料品展、根来寺関連宝物展、秋季企画展を開催した。

収集資料品展では民俗資料館資料収集事業で購入した根来漆器を常設展示するもので、9月と3月に展示品の入替を行い、根来塗について理解を深めた。

根来寺関連宝物展では「中世根来寺の歴史と文化－覚鑊・頼瑜・聖憲を中心として－」をテーマにした展示を行い、宗祖の覚鑊、現在に至る新義教学の基を築かれた頼瑜、その頼瑜の教学を大成させた聖憲の生涯や業績を中心として中世根来寺の歴史と文化について理解を深めた。

秋季企画展では「信長・秀吉・家康と根来寺－根来衆の活動を中心に－」をテーマに、織田信長・豊臣（羽柴）秀吉・徳川家康と根来寺（根来衆）の関係を中心に紹介し理解を深めた。

事業名	目標人数	実績人数
収集資料品展入館者数	41,400名	41,940名
根来寺関連宝物展入館者数	7,500名	5,969名
根来寺関連宝物展講演会2回参加者数	60名	42名
秋季企画展入館者数	10,600名	11,656名
秋季企画展講演会参加者数	70名	53名

- 民俗資料館歴史学習・講座事業は、歴史講座、ふるさと歴史学習会、子ども歴史学習会を実施した。

まず、歴史講座は「根来寺と和泉国の人々」、「鎌倉時代中・後期の高野山」、「紀伊徳川家と根来寺」をテーマに3回開催し、郷土岩出の歴史について理解を深めた。

次にふるさと歴史学習会では、地域のすばらしさに気づき、ふるさとに愛着と誇りを持ってもらうため、今回は国史跡西国分廃寺（西国分塔跡）・紀伊国分寺跡の見学を行った。

子ども歴史学習会は、夏季に小学4～6年生を対象として「まが玉づくり（1回）」、「はにわづくり（1回）」、「ふうりんづくり（1回）」をテーマに計3回の夏の子ども歴史学習会を開催し、冬季に小学3～6年生を対象として「だるま落とし絵付け体験」をテーマに1回の冬の子ども歴史学習会を開催した。

事業名	開催回数	募集人数	参加者数
歴史講座	第1回	70名	58名
歴史講座	第2回	70名	68名
歴史講座	第3回	70名	67名
ふるさと歴史学習会	第1回	20名	11名
夏の子ども歴史学習会	第1回	48名	43名
夏の子ども歴史学習会	第2回	48名	46名
夏の子ども歴史学習会	第3回	24名	24名
冬の子ども歴史学習会	第1回	24名	16名

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

根来寺や郷土の歴史の成り立ちについて各世代が興味を持って学べるテーマを設定してほしいとの意見を頂き、根来寺関連宝物展では中世根来寺の歴史と文化について、秋季企画展では信長・秀吉・家康と根来寺の関係をテーマに開催した。

歴史講座の実施にあたっては市民等の参加者の方からの要望が多い郷土岩出や根来寺をテーマにしたものを3回開催した。

〔総合評価〕

- ◎ 歴史・伝統文化の振興については2事業の評価を実施し、総合評価は、「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 期間中の入館者数が目標人数を上回った展示もあったが、根来寺関連宝物展では期間中の入館者数が目標人数を下回った。又、関連講演会でも参加者数が少なかったのは、展示テーマの設定に課題があったと考えられる。全体

的な原因として、新型コロナウイルス感染症の第5類移行前であったので、PR活動を自粛したことが考えられる。

- 今後の取組みとして、展覧事業や歴史講座は要望の多い根来寺関連や郷土岩出の歴史等の中で特に関心や注目度の高いテーマのものを実施していく。
ふるさと歴史学習会では、定員の半分程度の参加者にとどまったため、多くの方に参加いただくためにニーズに合ったテーマを設定して内容の充実を図るとともに、実施時期や実施場所についても見直す必要がある。

〔評価委員の意見〕

- 展覧事業については、民俗資料館は根来寺境内に位置することから、根来寺（新義真言宗）の歴史に特化した宗教的な部分も必要だが、根来寺は岩出市の歴史・文化のみならず観光の拠点であり、観光振興は市の重点業務の一つと聞いており、観光面に特化した一般受けする展示会も検討されたい。
また、令和5年度において、織田信長等の天下統一を目指した武将等、NHKの大河ドラマと関連付けて根来寺を取り上げた展示会は好評であったことから、アンケート調査を繰り返し実施し、入場者の意見聴取に基づいた展示会の開催と併せ、市内外に広く周知し入場者の増に繋がられたい。
- 講座事業については、一定のマニアが定着しているようだが、より広く参加者を集めるためには、アンケート調査等を繰り返し行うことで多様な講座の開催に向け努められたい。
- 子ども歴史学習会については、回数を増やし開催してもキャンセル待ちが出るほど、子供たちに大人気であると聞いており、より参加する機会を設けることに努められたい。

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課
事業名	小学校施設改修事業			
事業の目的	小学校の施設老朽化等に伴う補修工事を施工し、施設の安全確保及び耐用年数延長を図る。			
事業概要	児童の安全確保及び教育環境の整備・充実を図るため、校舎等の改修を行う。			
目標 (評価指標)	なし	理由	それぞれの学校に応じた緊急性の高い修繕を優先し対応しているため。	
達成状況	○工事内訳 (現年度)			
	工 事 名			金 額
	中央小学校プール塗替え工事			３,９９３,０００円
	山崎小学校普通教室床張替工事			２,７８３,０００円
	根来小学校普通教室床張替工事			２,７６４,８５０円
	山崎北小学校グラウンド会所浚渫工事			４９,５００円
	根来小学校３年１組カーテン設置工事			８０,８５０円
	中央小学校プール塗替え工事（変更契約）			１,２９９,１００円
	中央小学校プール塗替えスタート台等修繕工事			１１０,０００円
	山崎北小学校高圧ケーブル等受電設備不良箇所改修工事			１,６９７,３００円
	山崎小学校普通教室床張替工事（変更契約）			１５２,９００円
	根来小学校高圧進相コンデンサ取替工事			２５０,８００円
	岩出市立小学校内LAN配線追加工事			２８１,６００円
	各小学校消防用設備不良箇所改修工事			１,２９６,７７９円
	各小学校防火設備検査不良箇所改修工事			２２３,５２０円
	岩出小学校防火設備検査不良箇所改修工事			８４９,８６０円
	岩出小学校体育館電球取替等工事			２８８,０００円
	現年度計			１６,１２１,０５９円
	(繰越明許)			
	工 事 名			金 額
	根来小学校公共下水道接続工事			１１,８１１,８００円

予算執行	当初予算額	4 1 , 8 3 6 , 0 0 0 円	決算額	2 7 , 9 3 2 , 8 5 9 円
	補 正 等			
	予 算 額	4 1 , 8 3 6 , 0 0 0 円		
評 価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	岩出市立学校施設長寿命化計画に基づき、年次計画的に公共下水道接続工事とトイレ改修工事事業を進めるとともに、今後も、老朽化対策及び維持管理の徹底を図り、教育環境の整備や児童の安全確保に努める。 2027年末の一般照明用蛍光ランプの製造・輸出入の廃止に合わせた各学校の蛍光ランプをＬＥＤ照明器具に交換を進める必要がある。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課	
事業名	中学校施設改修事業				
事業の目的	中学校の施設老朽化等に伴う補修工事を施工し、施設の安全確保及び耐用年数延長を図る。				
事業概要	生徒の安全確保及び教育環境の整備・充実を図るため、校舎等の改修を行う。				
目標 (評価指標)	なし	理由	それぞれの学校に応じた緊急性の高い修繕を優先し対応しているため。		
達成状況	○工事内訳				
	工 事 名			金 額	
	岩出中学校普通教室床張替工事			６,２３３,７００円	
	岩出第二中学校 運動場サッカーゴール撤去工事			２７,５００円	
	岩出第二中学校体育館折畳式バスケット台取替工事			３,００７,４００円	
	岩出市立中学校内LAN配線追加工事			１３４,２００円	
	各中学校自動火災報知設備改修工事			２０１,３００円	
	各中学校消防用設備不良箇所改修工事			１,２０９,７８０円	
	岩中 電力受給契約計量装置取替工事（太陽光）			３４,２１５円	
	二中 電力受給契約計量装置取替工事（太陽光）			３４,２１５円	
	予算執行	当初予算額	１４,８６７,０００円	決算額	１０,８８２,３１０円
補 正 等		２,１４７,０００円			
予 算 額		１７,０１４,０００円			
評 価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	岩出市立学校施設長寿命化計画に基づき、年次計画的に公共下水道接続工事とトイレ改修工事業を進めるとともに、今後も、老朽化対策及び維持管理の徹底を図り、教育環境の整備や児童の安全確保に努める。 2027年末の一般照明用蛍光灯の製造・輸出入の廃止に合わせた各学校の蛍光灯をＬＥＤ照明器具に交換を進める必要がある。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

[illegible]

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課
事業名	教材・教具整備事業			
事業の目的	教材・教具を整備し学習に活用することで、児童生徒の学習意欲の向上、教職員の指導の効率化を図る。			
事業概要	各学校で希望する教材・教具を選定し、その内容を教育委員会が精査し、優先順位を付けたリストに基づき効果的な整備を行う。			
目標 (評価指標)	なし	理由	教材整備指針に基づき必要な教材・教具を整備・更新しているため。	
達成状況	教材備品		理科備品	図書購入費
	小学校	1,164,570 円	1,151,700 円	4,612,527 円
	中学校	1,203,659 円	57,915 円	2,759,954 円
	計	2,368,229 円	1,209,615 円	7,372,481 円
	図書蔵書数（3/31現在）		標準冊数	
	岩出小学校	12,460 冊	18 学級	10,360 冊
	山崎小学校	18,434 冊	26 学級	11,960 冊
	山崎北小学校	18,666 冊	28 学級	12,360 冊
	根来小学校	13,527 冊	19 学級	10,560 冊
	上岩出小学校	13,897 冊	15 学級	9,160 冊
	中央小学校	15,636 冊	17 学級	9,960 冊
	岩出中学校	24,064 冊	27 学級	16,480 冊
	岩出第二中学校	25,545 冊	23 学級	15,200 冊
	計	142,229 冊	173 学級	96,040 冊
予算執行	当初予算額	9,581,000 円	決算額	10,950,325 円
	補正等	1,705,000 円		
	予算額	11,286,000 円		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		

事業課題等	小中学校とも教材・教具の充実・更新を図ることができ、児童生徒の学習意欲向上及び教職員の指導効率化に寄与した。 今後も、学習指導要領の改訂に即した学習に不可欠な教材・教具の整備にむ向け、学校のニーズを適切に判断し整備を行っていくことが課題である。 また故障に対する対応について、予算に限りがある以上、修繕か買い換えかを適切な判断が必要である。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課	
事業名	特別支援教育就学奨励費扶助事業（小中学校）				
事業の目的	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を国の基準により支給し、特別支援教育の振興を図る。				
事業概要	学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童生徒学用品費、通学用品費に対して扶助費を支給する。				
目標 (評価指標)	なし	理由	特別支援学級入級児童生徒数は年度により差があり、目標設定は制度の性質上適当でないため。		
達成状況	認定者数 () 内は前年度実績				
	○ 岩出小学校	21 名	(19 名)		
	○ 山崎小学校	25 名	(25 名)		
	○ 山崎北小学校	28 名	(28 名)		
	○ 根来小学校	16 名	(19 名)		
	○ 上岩出小学校	19 名	(10 名)		
	○ 中央小学校	21 名	(16 名)		
	○ 市外小学校	0 名	(0 名)		
	小学校合計認定者数		130 名	(117 名)	
	小学校合計支給額		4,559,195 円	(4,143,544 円)	
認定者数					
○ 岩出中学校	24 名	(16 名)			
○ 岩出第二中学校	8 名	(14 名)			
○ 市外中学校	1 名	(1 名)			
中学校合計認定者数		33 名	(31 名)		
中学校合計支給額		1,792,190 円	(1,387,282 円)		
扶助費支給額合計		6,351,385 円	(5,530,826 円)		

予算執行	当初予算額	7,974,000円	決算額	6,351,385円	
	補正等	△791,000円			
	予算額	7,183,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	対象児童生徒の保護者の経済的な負担が軽減されており、本事業の果たす役割は大きい。この事業は国庫補助事業であり、国の要綱に準じて事業を実施するため、要綱の内容を正しく把握し適正に実施することが重要である。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課
事業名	要保護・準要保護児童生徒扶助事業			
事業の目的	経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒に対し、就学の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。			
事業概要	学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童生徒学用品費、通学用品費に対する扶助費を、年３回（７月、１２月、３月）に支給する。			
目標 (評価指標)	なし	理由	就学援助は経済情勢等の社会的要因で上下し、目標設定は制度の性質上適当でないため。	
達成状況	（ ）内は前年度実績			
		認定者数		令和６年度入学前支給者数
	○ 岩出小学校	48 名	(54 名)	6 名 (5 名)
	○ 山崎小学校	79 名	(82 名)	5 名 (12 名)
	○ 山崎北小学校	84 名	(77 名)	11 名 (14 名)
	○ 根来小学校	40 名	(36 名)	4 名 (4 名)
	○ 上岩出小学校	71 名	(62 名)	5 名 (6 名)
	○ 中央小学校	52 名	(50 名)	7 名 (10 名)
	○ 市外小学校	2 名	(2 名)	0 名 (0 名)
	小学校合計認定者数	376 名	(363 名)	38 名 (51 名)
	小学校合計支給額	22,457,560 円	(21,700,049 円)	
	内給食費扶助費	13,464,920 円	(12,032,910 円)	
	内入学前支給額	2,054,280 円	(2,757,060 円)	
		認定者数		令和６年度入学前支給者数
	○ 岩出中学校	111 名	(109 名)	21 名 (38 名)
○ 岩出第二中学校	97 名	(88 名)	37 名 (25 名)	
○ 市外中学校	7 名	(7 名)	0 名 (3 名)	
中学校合計認定者数	215 名	(204 名)	58 名 (66 名)	
中学校合計支給額	19,951,253 円	(17,543,813 円)		
内給食費扶助費	7,271,700 円	(6,226,088 円)		
内入学前支給額	3,654,000 円	(3,960,000 円)		

予算執行	当初予算額	43,357,000円	決算額	42,408,813円	
	補正等	△800,000円			
	予算額	42,557,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	要保護・準要保護児童生徒の保護者の経済的な負担が軽減されているため、本事業の果たす役割は大きい。しかしながら要保護の修学旅行費については、国の補助金（1／2）があるが、国の要綱に準じて事業を実施するため、要綱の内容を正しく把握し適正に実施することが重要である。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち																																																	
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備																																																	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課																																																
事業名	紀の国緑育推進事業																																																			
事業の目的	児童の自然と触れ合う機会を創り、環境学習の効果を高める。																																																			
事業概要	県が実施する紀の国森づくり税を財源とした補助金を活用し、学校教育の一環として森林を利用した体験学習を行う（紀の国緑育推進事業補助金交付要綱及び取扱要領）。																																																			
目標 (評価指標)	小学校実施率	100%	第３次長計（前期）【令和７年度】																																																	
達成状況	○ 森林体験（間伐体験・森の恵み体験） 実施場所：日高川町の林地及び日高川ふれあいドーム、南山若者センター <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">実施日</th> <th style="text-align: center;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩出小学校</td> <td style="text-align: center;">9月29日</td> <td style="text-align: center;">57 名</td> </tr> <tr> <td>山崎小学校</td> <td style="text-align: center;">10月12日</td> <td style="text-align: center;">111 名</td> </tr> <tr> <td>山崎北小学校</td> <td style="text-align: center;">9月28日</td> <td style="text-align: center;">118 名</td> </tr> <tr> <td>根来小学校</td> <td style="text-align: center;">10月27日</td> <td style="text-align: center;">60 名</td> </tr> <tr> <td>上岩出小学校</td> <td style="text-align: center;">10月13日</td> <td style="text-align: center;">62 名</td> </tr> <tr> <td>中央小学校</td> <td style="text-align: center;">10月6日</td> <td style="text-align: center;">75 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">483 名</td> </tr> </tbody> </table> ○ 森林学習（木工体験） <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">実施日</th> <th style="text-align: center;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩出小学校</td> <td style="text-align: center;">12月4日 ～ 12月18日</td> <td style="text-align: center;">57 名</td> </tr> <tr> <td>山崎小学校</td> <td style="text-align: center;">10月24日 ～ 10月26日</td> <td style="text-align: center;">111 名</td> </tr> <tr> <td>山崎北小学校</td> <td style="text-align: center;">12月1日</td> <td style="text-align: center;">118 名</td> </tr> <tr> <td>根来小学校</td> <td style="text-align: center;">11月28日 ～ 12月4日</td> <td style="text-align: center;">60 名</td> </tr> <tr> <td>上岩出小学校</td> <td style="text-align: center;">11月6日 ～ 11月29日</td> <td style="text-align: center;">62 名</td> </tr> <tr> <td>中央小学校</td> <td style="text-align: center;">10月16日 ～ 10月30日</td> <td style="text-align: center;">75 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">483 名</td> </tr> </tbody> </table>					実施日	参加人数	岩出小学校	9月29日	57 名	山崎小学校	10月12日	111 名	山崎北小学校	9月28日	118 名	根来小学校	10月27日	60 名	上岩出小学校	10月13日	62 名	中央小学校	10月6日	75 名	計		483 名		実施日	参加人数	岩出小学校	12月4日 ～ 12月18日	57 名	山崎小学校	10月24日 ～ 10月26日	111 名	山崎北小学校	12月1日	118 名	根来小学校	11月28日 ～ 12月4日	60 名	上岩出小学校	11月6日 ～ 11月29日	62 名	中央小学校	10月16日 ～ 10月30日	75 名	計		483 名
	実施日	参加人数																																																		
岩出小学校	9月29日	57 名																																																		
山崎小学校	10月12日	111 名																																																		
山崎北小学校	9月28日	118 名																																																		
根来小学校	10月27日	60 名																																																		
上岩出小学校	10月13日	62 名																																																		
中央小学校	10月6日	75 名																																																		
計		483 名																																																		
	実施日	参加人数																																																		
岩出小学校	12月4日 ～ 12月18日	57 名																																																		
山崎小学校	10月24日 ～ 10月26日	111 名																																																		
山崎北小学校	12月1日	118 名																																																		
根来小学校	11月28日 ～ 12月4日	60 名																																																		
上岩出小学校	11月6日 ～ 11月29日	62 名																																																		
中央小学校	10月16日 ～ 10月30日	75 名																																																		
計		483 名																																																		

予算執行	当初予算額	6,142,000円	決算額	5,464,152円
	補正等	△677,000円		
	予算額	5,465,000円		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	環境教育としての役割を果たすべく、今後も、充実した体験・事後学習を行い、子供たちの自然愛護、環境保護等に関する学習を深めていく。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育相談の充実		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課	
事業名	適応指導教室（通称：フレンド）事業				
事業の目的	心理的要因等により学校生活になじめず登校できない児童生徒（不登校児童生徒）の学校生活への復帰や社会的自立を目指す。				
事業概要	指導員を置き、毎週月曜日から金曜日（国民の祝日等は除く）に、登校できない児童生徒に対する教育相談、学校生活への復帰や自立を図るために指導及び援助、学校等関係機関との連携を図る。				
目標 （評価指標）	なし	理由	児童生徒の状況に応じて、適宜実施しているため。		
達成状況	【通級状況】（ ）内は前年度実績 入室児童生徒数：小学生 １０名（５名）、中学生 １０名（１２名） 体験入室者：小学生 ４名（７名）、中学生 ９名（１１名） 入室者出席延べ日数：小学生 ３４１日（８９日）、中学生 ９７５日（５６８日） 体験入室者出席延べ日数：小学生４日（１０日）、中学生３３日（６日） 【相談状況】 来所相談：０件（１件） 電話相談：４件（０件） 学校との連携：学校への訪問 １４６件（１２９件）、学校からの訪問 １３７件（１３５件） 学校との連絡：学校への電話 １６８件（１８６件）、学校からの電話 １５１件（１７８件） 家庭との連絡：家庭への電話 １２件（１件）、家庭からの電話 ３１件（１６件） 【指導者等】 指導員 ２名 指導補助員 ２名 不登校支援員 ３名 スクールカウンセラー １名				
予算執行	当初予算額	６,１８８,０００円		決算額	５,８２２,３５９円
	補正等				
	予算額	６,１８８,０００円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	駅前ライブラリー移転と同時に、一日当たりの通室者数がほぼ倍増した。 入室者の中にはフレンドにもほとんど出席できない児童生徒がいるため、引き続き通室しやすい環境づくりや在籍校と連携、家庭訪問等連絡を密にし、出席できるよう働きかけていく。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 家庭・地域との連携		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課	
事業名	コミュニティスクール事業				
事業の目的	学校の運営及び必要な支援に関し、対象学校の所在する地域の住民、対象学校に在籍する児童生徒の保護者等の理解を深め、住民参画の促進を図る。				
事業概要	岩出市内各学校に学校運営協議会を設置し、学校や地域が抱える様々な課題を解決するため、学校と保護者や地域住民が連携した取組を行い、地域とともにある学校づくりを行う。				
目標 (評価指標)	なし	理由	学校の教育目標に沿った学校運営協議会の取組に対し、研修の実施や調整役としての関わりを目標としているため。		
達成状況	・学校運営協議会委員を任命 岩出小学校１２名、山崎小学校１０名、山崎北小学校１２名 根来小学校１２名、上岩出小学校１２名、中央小学校１２名 岩出中学校１３名、岩出第二中学校１３名 計９８名（Ｒ４年度９８名） ※学校運営協議会は各校年間３回実施した。 ・コミュニティスクール研修会を実施し、教員と地域ボランティアが直接子育てに関する課題について協議できる場を設定し、一般の教員と地域住民の意見交換と相互理解する機会を設けることができた。 ・２／１３、２／２０の２回に分けて４校ずつ岩出市学校運営協議会連絡協議会を実施。和歌山県ＣＳ（コミュニティスクール）マイスターを招聘し、各校が抱える課題や悩みについて個別に助言をしてもらい、次年度の学校運営協議会の方針について協議する機会を設けることができた。				
予算執行	当初予算額	８８０,０００円		決算額	５７３,３０７円
	補正等				
	予算額	８８０,０００円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	生涯学習課所管の「学校支援地域ボランティア活動事業」とともに本市指導主事がかかわり、指導助言することで、活性化を図っていきたい。また、小中８校の取組状況がバランスよく行われるよう情報提供も定期的に行っていく。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 豊かな学びと学力向上		【重点施策】 学力の向上	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課
事業名	教育情報化推進事業			
事業の目的	基本的な学習スタンスを大事にしつつ、ICT等の最先端技術を活用した授業改善を図り、新たな学びを創造し、子供たちの確かな学力と生きる力を育む。			
事業概要	岩出市教育情報化推進本部を設置し、指導主事、校長等学校関係者、情報システム関係担当者等が、教育の情報化における課題や必要となる環境を検討する。			
目標 (評価指標)	協働学習の際にICTを効果的に活用できる教員の割合	90%以上	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	教育のICT化に向けた環境整備５カ年計画（岩出市教育情報化推進計画（H30～R4）の反省点４／５ 岩出市教職員研修（動画研修）にて学習eポータルの活用について研修 ５／２３ TerraTalk（AI型英語学習アプリ）導入研修 ロイロノート活用の普及・促進のために「初級」、「中級（２回）」、「上級」のレベル別の研修を実施。「上級」研修では、新たに９人がロイロ認定ティーチャーに認定され、市内すべての学校に認定ティーチャーが配置されている状況となった。 教育情報化推進本部会議２回、教育情報化推進委員会を５回実施し、令和５年３月に策定した「岩出市教育情報化推進計画第２期（R5～R9）」の着実な実施に務めた。 「協働学習の際にICTを効果的に活用できる教員の割合」68.2%（70.2%）			
予算執行	当初予算額	5,128,000円	決算額	4,699,200円
	補正等			
	予算額	5,128,000円		
評価	c	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	・ 協働学習の際にICTを効果的に活用できる教員の割合の伸び悩み ・ GIGA端末の予備機が減ってきており、次期端末導入までの修理 ・ 端末の日常的な持ち帰りの促進 ・ 端末を日常的に協働学習に活用するための教員の意識変革 ・ 令和７年度のGIGA端末更新（県共同調達）に向けた情報収集			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち													
	【基本施策】 豊かな学びと学力向上		【重点施策】 学力の向上													
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課												
事業名	学力向上実践研究事業															
事業の目的	学力向上先進校（地域）における研修や勤務校での実践研究を行い、指導力向上に向けた専門性とリーダー性を備えた教員（中核教員）の養成と効果的な指導方法を活用した授業実践を普及させ、児童生徒の学力向上を図る。															
事業概要	全国学調、市学調（小３～中３）で市平均と全国平均の差を±０に向けた取組 （１）教職員の指導力・資質向上（先進校派遣） （２）学力向上に係る研究発表会等に教員を派遣（研究発表会派遣） （３）派遣教員の活用による学力向上の推進 （４）ＲＳＴ（リーディングスキルテスト）を活用した授業改善（教員） ※ＲＳＴとは、文章に書かれている意味を正確にとらえる力（基礎的な読む力・読解力）を測定・診断するテスト。別名：読解力テスト															
目標 （評価指標）	なし	理由	教職員の指導力・資質向上及び児童生徒の教育内容の充実を目指すため、数値による評価はできないため。													
達成状況	○学力調査の結果 全国学調と市学調（小３～中３）で市平均と全国平均の差が全国平均を上回った学年数は、７学年中４学年となった。 ○取組状況 ①ＲＳＴ活用により、教員が深く教科書を読み、教科書に出てくる言葉にこだわり（「ひっかけり」）、子供たちの学びを阻害する言葉に気づき、「子供のつまずきや困難さを予測できる」→「教員の指示や発問が変わる」→「授業が変わる」という授業改善に結び付けた。 ・ＲＳＴ実施状況 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">実施教員数</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">実施児童生徒数</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: center;">１５名</td> <td style="text-align: center;">３２名</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: center;">５名</td> <td style="text-align: center;">１０名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">２０名</td> <td style="text-align: center;">計 ４２名</td> </tr> </table> ②受検対象を児童生徒に大きく拡大し、児童生徒自身が自己の課題を認識する機会を提供することができた。 ③受検者には、受検結果から自己の課題解決へとつなげるＲＳノートの活用を提案し、更なる資質向上へとつなげることができた。 ④先進校視察 大阪府茨木市豊川中学校に赴き、学び合いを軸にした「聴き合い、学び合う子供たちを育てよう」というテーマの実践研究会に参加し、参加者で学んできたことをまとめ、市内の教職員に共有を行った。					実施教員数	実施児童生徒数	小学校	１５名	３２名	中学校	５名	１０名	計	２０名	計 ４２名
	実施教員数	実施児童生徒数														
小学校	１５名	３２名														
中学校	５名	１０名														
計	２０名	計 ４２名														
予算執行	当初予算額	８９０,０００円		決算額	７３０,６１０円											
	補正等															
	予算額	８９０,０００円														

評 価	c	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下
事業課題等	目標である児童生徒の学力向上に向け、専門性を備えた教職員の育成のためには学力向上先進校への視察を続け、その内容を各校の持ち帰り共有し、教職員全体の指導力の底上げが急務である。 また引き続き児童生徒へのR S Tの受検を推進し、主体的に学び、自ら課題を発見する能力の育成を図っていく必要がある。	
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 豊かな学びと学力向上		【重点施策】 心身の健全育成	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課
事業名	いわでアスリートクラブ事業			
事業の目的	陸上競技を通じて、児童の心身の健全育成を図る。			
事業概要	毎週土曜日の午前中に、中央小学校又は大宮緑地総合運動公園を使用して、岩出市内の小学生（３年生以上）を対象に、陸上競技活動を実施する。			
目標 （評価指標）	登録児童の活動参加率	50%以上	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	【実施状況】 ・実施期間：令和５年４月２２日～令和６年３月２日 ・実施回数：３０回（２９回） ・実施場所：中央小学校又は大宮緑地総合運動公園 ・登録者数：２４２名（２４５名） ３年生 ６９名（７３名） ４年生 ６５名（６４名） ５年生 ６２名（５７名） ６年生 ４６名（５１名） ・のべ参加人数：３，１０１名（３，１５９名） ・出席率：４５．２％（４６．２％） ・指導者登録者数：２９名（２９名） ・クラブとしての県大会への参加は中止 （ ）内は前年度実績			
予算執行	当初予算額	４５９，０００円	決算額	３７５，８６４円
	補正等			
	予算額	４５９，０００円		
評価	c	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	中央小学校での練習も大宮緑地での記録会も全学年で４月から実施した。雨天のため４回は中止となったが、年間３０回実施した。活動参加率は、４５．２％と参加率は５０％を下回った。 冬場の参加率の低下が要因としてあげられるため、活動内容が単調にならないよう、指導者と工夫していく。 指導者の確保は、２９名登録者はいるが、季節により参加率に偏りがあり、指導者不足に悩む日もあった。指導体制を見直し、無理なく参加してもらえる体制を作る必要がある。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 豊かな学びと学力向上		【重点施策】 学校給食の充実	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課
事業名	学校給食運営事業			
事業の目的	学校給食衛生管理基準に基づき、共同調理場の施設の整備や食器等の充実を図るとともに、学校給食の運営における適正化に努める。			
事業概要	(１) 年次計画による設備や食器等の整備 (２) 岩出市学校給食運営委員会の開催（議題：学校給食運営の課題等） (３) 地産地消の推進			
目標 (評価指標)	現年徴収率	100%	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	○岩出市学校給食運営委員会の開催状況 ２回（７／１３・２／２７） ○徴収率 （ ）内は前年度実績 ・支払督促申立 ５件[うち完納２件] ・現年度 99.69% (99.59%) ・滞納繰越分 84.88% (69.92%) ○工事 ・高圧ケーブル取替工事ほか計４件 7,849,600円 ○備品 ・移動式シェルフ、水切り移動台ほか計10件 3,598,042円 ○地産地消率 （ ）内は前年度実績 60.6% (65.7%) 【内訳】米100% (100%)、野菜42.5% (49.2%)			
予算執行	当初予算額	362,351,000円	決算額	349,591,440円
	補正等	2,541,000円		
	予算額	364,892,000円		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	(１) 物価高に対応した安心・安全な学校給食と栄養バランス豊かな給食の提供 (２) 学校給食費現年徴収率の向上 (３) 令和６年２月に公表された学校給食費を完全無償化する市町村に対する県の半額補助事業の動向 (４) 経年劣化による備品の更新及び施設の老朽化に伴う修繕は夏休み期間を利用した計画を策定			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 青少年健全育成の推進		【重点施策】 青少年を取り巻く環境整備	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課
事業名	児童携帯用防犯ブザー補助事業			
事業の目的	防犯ブザー購入費の一部を補助することにより、携帯率を高め、児童を犯罪から保護し、危険を防止する。			
事業概要	各校ＰＴＡが防犯ブザーを購入する費用に対して、その１／２を補助する（児童１人につき１回限りとし、限度額４００円）。			
目標 （評価指標）	小学１年生所持率	80%以上	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	【小学１年生所持率】		【申請者数】 計182名（前年度133名）	
	令和元年度	79.3%	岩小 15名 山小 34名 山北 37名	
	令和２年度	78.4%	根小 23名 上小 33名 央小 40名	
	令和３年度	89.1%	申請率 36.8%（前年度32.0%）	
	令和４年度	85.7%	【回答率】 48.0%	
	令和５年度	88.1%	1,385 人 ／ 2,887 人	
	【参考】			
	【全小学生所持率】		74.5%（前年度69.9%）	所持者数 1,032 人
	【全中学生所持率】		21.9%（前年度16.1%）	所持者数 143 人
予算執行	当初予算額	102,000円	決算額	67,340円
	補正等			
	予算額	102,000円		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	目標値としている「小学１年生所持率80%」を３年続けて達成した。 児童の安全確保と同時に児童の保護者の経済的な負担軽減が図れる本事業の継続が必要であるが、子供に防犯グッズを持たせて安心するだけではなく、日頃から電池切れや故障していないかなど大人による継続的なメンテナンスが必要なことも周知していく。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 青少年健全育成の推進		【重点施策】 青少年の活動推進		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課	
事業名	中学校防災訓練及び防災ジュニアリーダー育成事業				
事業の目的	中学生の危機意識を高めるとともに、災害時の地域防災活動において中心的な役割を担うことを意識づけるために防災訓練を実施する。				
事業概要	(１) 防災訓練 各中学校を会場に３年生全員を対象として実施 (２) 防災ジュニアリーダー育成事業 夏休みの２日間、那賀消防組合消防本部及び中消防署を会場に、中学生の希望者を募り実施（本事業の受講者は、岩出市地域防災訓練にも参加）				
目標 (評価指標)	なし	理由	防災訓練は学校教育の一環、ジュニア防災リーダー育成は受入体制によるため、目標設定は性質上適当でないため。		
達成状況	【実施状況】 ・啓発事業 6／1（木）防災ジュニアリーダー育成講座のポスター作成を各校へ依頼 ・防災訓練（対象者）中学３年生 ※水消火器による消火訓練再開 7／13（木）岩出第二中学校 参加人数 206人 場所 体育館・格技場・教室等 7／20（木）岩出中学校 参加人数 225人 場所 体育館・格技場・会議室等 ・防災ジュニアリーダー育成講座 8／7（火）8／8（水） ※２日開催再開 参加 17名（岩出中学校 2名 岩出第二中学校 15名） 場所 那賀消防組合				
予算執行	当初予算額	199,000円		決算額	176,983円
	補正等				
	予算額	199,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	災害発生前の自助努力等に関する研修と津波防災の危機回避の意識を高めるため、視聴覚教材を用いた津波防災学習を実施。津波への危機回避に対する意識の向上を図った。 防災ジュニアリーダー育成事業の受講生にアンケートを実施した結果、全ての受講生が講座の内容の必要性に肯定的な回答が得られたため、アンケート結果を次のプランに活用し、参加人数を増やしていく。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 青少年健全育成の推進		【重点施策】 自立と成長の促進	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課
事業名	和歌山を元気にする職場体験事業			
事業の目的	職場体験事業を実施し、将来社会人として自立できる力を育む。			
事業概要	各中学校において学年別進路適性診断システム（PASカード）により、将来の進路希望や適性を判定するとともに、事業所の協力を得て、中学２年生を対象に３日間の職場体験を実施する。			
目標 （評価指標）	なし	理由	参加生徒数や受け入れ事業数、参加率等は目標値として妥当ではないため。	
達成状況	○職場体験（職場体験のためのマナ講座を両校にて実施）			
	項目 \ 学校名	岩出中学校	岩出第二中学校	
	実施日	9/6（水）～9/8（金）	8/30（水）～9/1（金）	
	参加者数	216人	218人	
	事業所数	76社	93社	
	○PASカード実施日	1/11（木）	5/16（火）	
	○PASカード受検数	225人	230人	
予算執行	当初予算額	544,000円	決算額	488,897円
	補正等			
	予算額	544,000円		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	教室の中だけで学ぶのではなく、職場で仕事や人との関わりを経験することで、学習や働くことの意義をよく理解できる機会として、幅広い分野の職場体験先を確保する必要がある。 都市化が進む岩出市においては一次産業（農作物・畜産物などを作る「農業」、木材を生産する「林業」、海や河川などで魚介類を獲る「漁業」）の職場体験先を確保することが課題である。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち		
	【基本施策】 国際化の推進		【重点施策】 多文化共生の推進		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	教育総務課	
事業名	外国青年招致事業				
事業の目的	小中学校の英語の授業において、外国青年の補助により英語を多用した授業を実践することにより、外国語教育の充実及び推進を図る。				
事業概要	(１) 外国青年を招致（任用期間は最長５年） (２) 英語によるコミュニケーション能力向上、国際文化への興味と理解を深める。 (３) 外国語授業助手（ALT=Assistant Language Teacher）として活用 岩出中学校、岩出第二中学校（週２）、各小学校（週１）				
目標 (評価指標)	採用人数	３名	第３次長計（前期）【令和７年度】		
達成状況	○現在の任用状況				
	ウィリアム・ピアソン 令和３年から任用（小学校担当）				
	キーティング・ジャック 令和５年７月任用（小学校担当）				
	ヒューライト・マドックス 令和５年８月任用（中学校担当）				
	○活動状況（稼働日数）				
	勤務地 期別	岩出中学校	岩出第二中学校	各小学校	
１学期	３２日	３０日	１週間ごとに各校へ勤務		
２学期	３８日	４４日	１週間ごとに各校へ勤務		
３学期	２７日	２４日	１週間ごとに各校へ勤務		
予算執行	当初予算額	１４,６１１,０００円		決算額	１３,４１７,８６０円
	補正等	２０,０００円			
	予算額	１４,６３１,０００円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	小学校ALTの１名増員により、１校あたりの授業日数が増え、ALTを十分に活用した授業を実施できた。引き続き、小中学校において、外国語教育の充実及び推進を図っていく。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 家庭・地域との連携		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課	
事業名	学校支援地域ボランティア活動事業				
事業の目的	学校・家庭・地域が一体となって子供の育ちや学びを支える取組を推進する。				
事業概要	学校支援・学習支援・校内環境整備など学校支援ボランティアが学校と協力し活動				
目標 (評価指標)	ボランティア登録者数	240名	第３次長計（前期）【令和７年度】		
達成状況	・ボランティア登録者数 岩出小学校 56名 山崎小学校 30名 山崎北小学校 35名 根来小学校 52名 上岩出小学校 49名 中央小学校 45名 岩出中学校 16名 岩出第二中学校 42名 合計 延べ325名 保険加入者数 235名 年間を通じて、地域の方々による学校支援ボランティアの活動により、授業補助等の支援を実施 【岩出小学校】 学習支援、家庭科（ミシン） 折り紙遊び、小物づくり 校庭整備、堤防の草刈り 【山崎小学校】 図書の修理、整理 読み聞かせ、家庭科（ミシン） 【山崎北小学校】 図書の整理、読み聞かせ 家庭科（ミシン） セタ集会、二中との合同清掃活動 【根来小学校】 下校時安全観察、町たんけん見守り 家庭科（調理実習、ミシン） セタ集会、さつまいも堀り 二中との合同清掃活動 【上岩出小学校】 田植え、稲刈り、農園整備、運動場草刈り クラブ活動（昔遊び、将棋等） 二中・中央との合同清掃 家庭科（ミシン）、上小ふれあい祭り等 【中央小学校】 読み聞かせ、家庭科（ミシン） 下校指導、町たんけん見守り、昔遊び 農園整備（さつまいも等苗植え） なわとび練習補助器修理、ミストシャワー設置 二中・上小との合同清掃 【岩出中学校】 地域学習に係る交通安全見守り 【岩出第二中学校】 山北、根来、上小・中央との合同清掃活動 校内ペンキ塗り PＴ会議を３回開催 事業推進のために目標や方向性の検討、情報交換を行うとともに、各活動への支援と参加、学校運営協議会へのオブザーバー参加など教育総務課と連携して学校支援地域ボランティア活動の充実を図った。 8/22 市コミュニティスクール研修会に参加 「コミスク通信」の発行（10～18号まで発行） 5月～3月、随時各学校の活動紹介や学校運営協議会の様子などを掲載したコミスク通信を発行し、各学校に配付 3月 広報誌にボランティア募集の記事掲載 年間の各学校のボランティア活動実績一覧表を各学校へ配付				
予算執行	当初予算額	345,000円	決算額	241,357円	
	補正等				
	予算額	345,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	各学校に沿ったボランティア活動の充実を図るため、ボランティア、学校と情報共有を図りながら、協力者への協力依頼と活動をサポートしていく必要がある。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 青少年健全育成の推進		【重点施策】 青少年を取り巻く環境整備 青少年活動の推進	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課
事業名	青少年健全育成事業			
事業の目的	学校・家庭・地域及び行政が連携し、安全な環境づくりを目指し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る。			
事業概要	青少年の健全育成を図るため、様々な分野からの働きかけを行い、総合的に効果が上がるよう取り組む。（活力ある地域活動・家庭教育支援活動・意識啓発のための活動・関係機関との連携、情報収集・子供を守るための活動）			
目標 (評価指標)	なし	理由	催しの参加対象・人数が変更する場合があります、目標の数値化が困難なため	
達成状況	【青少年育成市民会議】 ４月 小中学校参観日の合同街頭啓発の代替として保護者向けのチラシ配布（約４，５００枚） ５／１２ 定期総会、各支部会 ７／１２ 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」講演会 演題 「青少年の非行・被害防止～SNSの危険性～」 講師 県警察本部生活安全部少年課 西山真紀 氏 参加人数１５１名 ７／１８ 夏の子供を守る運動合同街頭啓発 スーパーエバグリーンプラス岩出高塚店、マツゲン岩出中迫店 啓発物資８００個配布 参加人数２７名 ７・８月 市役所、図書館に啓発コーナー設置、啓発物資配布 ８／２８ 「絆」ポスター審査会 応募総数１７７点（市内小中学生を対象に募集） ８／３０、３１ 子供たちを犯罪等から守る活動の一環として、市内幼保、小中学校、自治会 公共施設へ幟旗設置（２８か所） ９／９ 第１８回岩出市青少年育成市民大会 表彰状授与（吉田自治会青少年育成会） 賞状授与（「絆」ポスター 優秀賞８名） 少年の主張作文発表 中学生４名 アトラクション 那賀高等学校吹奏楽部演奏 地区育成会活動紹介パネル展示 「絆」ポスター展示 参加人数４１１名 １０／９ 第１８回岩出市民運動会にて啓発活動 小学生のメッセージ入りティッシュの配布 １１／１ 育成だよりを全戸配布（約２４，０００部） １１／３、４ 第１８回岩出市文化祭にて小学生のメッセージ入りティッシュの配布 １１／２３ スポレクフェスタ開催 小学校区別対抗で玉入れ、綱引き等実施 参加人数２７７名 １２／１４ 冬休みに合わせた合同街頭啓発 スーパーエバグリーンプラス岩出高塚店、マツゲン岩出中迫店 啓発物資６００個配布 参加人数３０名 １／３０、２／２ 小学校区別（合同）懇談会（中学校区別に２回開催） 演題提起 テーマ：子供たちを取りまく環境の変化や様々な課題 講師 岩出市社会教育指導員 宮本 治 氏 各学校から現況報告、青少年センターから不審者情報等について報告 地域からの意見 参加人数１２３名 ３／２１ 育成通信発行（各小中学校を通じて家庭へ配布） 年間を通じて、関係団体と連携してあいさつ運動や各種活動に取り組んだ。 【地域活動連絡協議会】 ４／１５ 定期総会、第１回役員会 ５／２７ 第１回ジュニア・シニアリーダー会 ６／１０ ドッジボール講習会（県ドッジボール協会による講習会） 参加人数１０８名 第２回役員会、第２回ジュニア・シニアリーダー会			

達成状況	7／2　ドッジボール大会 出場6チーム、参加人数271名 7／22、23　子ども・リーダー交流会　紀泉わいわい村 野外炊飯、五右衛門風呂、工作等　　　参加人数9名 8／19　和歌山県地域子ども集団親睦交流スポーツ大会（ドッジボール大会） 白浜町立総合体育館 2チーム出場、参加人数28名 11／29　岩出市地域活動連絡協議会指導者研修会 みそづくり　　　参加人数24名 12／2　子ども・リーダー交流会「山のケーキ屋さん」　根来山げんきの森 散策、木の実収穫、ケーキづくり　　　参加人数21名 3／26　第3回役員会				
予算執行	当初予算額	2,941,000円	決算額	2,789,330円	
	補　正　等				
	予　算　額	2,941,000円			
評　価	b	a 期待以上　　b 期待どおり　　c やや下回る　　d 期待以下			
事業課題等	青少年健全育成活動を継続して多くの市民に周知できるよう、関係団体や家庭・学校・地域及び行政が連携し安全な環境づくりに取り組みより多くの市民の参加を目指す。 今後も、子供たちが活躍できる場やイベントを計画して実施できるよう努める。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち		
	【基本施策】 青少年健全育成の推進		【重点施策】 自立と成長の促進		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課	
事業名	はたちのつどい事業				
事業の目的	はたちという人生の節目を迎える方を祝い励ますとともに、社会人としての自覚と地域への愛着心を育む。				
事業概要	式典、イベント				
目標 (評価指標)	参加率	72.50%	第３次長計（前期）【令和７年度】		
達成状況	8/10 市ウェブサイトを実施内容掲載 9/22 手話通訳者派遣依頼 10/ 1 市ウェブサイトにも市外在住者用参加申込みフォーム作成 11/14 イベント出演者の選定、決定 11/16 職員協力依頼 12/ 4 対象者案内状発送、来賓案内状発送 12/11 警察官派遣依頼 1/ 6 はなまち設営 1/ 7 リハーサル（音響・司会・感謝の言葉）、バルーン搬入、生花設置 1/ 8 当日午前9時～受付 午前10時～ 第一部 式典 午前10時40分～第二部 記念イベント モグライダー 対象者（男）333名（女）340名（計）673名 出席者（男）235名（女）235名（計）470名 470／673＝69.8% 1/11 礼状送付				
予算執行	当初予算額	1,727,000円	決算額	1,715,371円	
	補正等				
	予算額	1,727,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	スムーズな運営ができる職員配置（場所、時間）検討 駐車場の運用方法の検討				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																										
	【基本施策】 文化・芸術活動の推進		【重点施策】 文化・芸術活動の推進																										
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課																									
事業名	文化協会助成事業																												
事業の目的	文化振興・文化交流に資する団体への助成																												
事業概要	岩出市文化協会への助成																												
目標 (評価指標)	団体数	39団体	第３次長計（前期）【令和７年度】																										
達成状況	事業計画に沿った事業の推進を図り、会員相互の交流と各クラブの活動助成を実施することにより、市の文化活動の発展に寄与することができた。 （文化協会事業実施状況） ・総会の開催 ・理事会（年２回）、常任理事会（年４回）の開催 ・市内で作品展示やコンサートの実施 （絵手紙愛好クラブ、いわで絵画倶楽部、岩出第九合唱団） ・会員研修の実施 ・補助金の交付 ・文化祭の実施 芸能発表１４クラブ出演 ・観光投句の審査 民俗資料館展示 ・会報の発行（各クラブに原稿を依頼） <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">令和５年度</td> <td style="width: 15%;">会員数</td> <td style="width: 15%;">５９６名</td> <td style="width: 15%;">クラブ数</td> <td style="width: 40%;">３３クラブ（休会中５クラブ除く）</td> </tr> <tr> <td>令和４年度</td> <td>会員数</td> <td>６４２名</td> <td>クラブ数</td> <td>３４クラブ（休会中４クラブ除く）</td> </tr> <tr> <td>令和３年度</td> <td>会員数</td> <td>６８０名</td> <td>クラブ数</td> <td>３５クラブ（休会中４クラブ除く）</td> </tr> <tr> <td>令和２年度</td> <td>会員数</td> <td>７４５名</td> <td>クラブ数</td> <td>３７クラブ（休会中２クラブ除く）</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>会員数</td> <td>８２８名</td> <td>クラブ数</td> <td>３７クラブ（休会中２クラブ除く）</td> </tr> </table>				令和５年度	会員数	５９６名	クラブ数	３３クラブ（休会中５クラブ除く）	令和４年度	会員数	６４２名	クラブ数	３４クラブ（休会中４クラブ除く）	令和３年度	会員数	６８０名	クラブ数	３５クラブ（休会中４クラブ除く）	令和２年度	会員数	７４５名	クラブ数	３７クラブ（休会中２クラブ除く）	令和元年度	会員数	８２８名	クラブ数	３７クラブ（休会中２クラブ除く）
令和５年度	会員数	５９６名	クラブ数	３３クラブ（休会中５クラブ除く）																									
令和４年度	会員数	６４２名	クラブ数	３４クラブ（休会中４クラブ除く）																									
令和３年度	会員数	６８０名	クラブ数	３５クラブ（休会中４クラブ除く）																									
令和２年度	会員数	７４５名	クラブ数	３７クラブ（休会中２クラブ除く）																									
令和元年度	会員数	８２８名	クラブ数	３７クラブ（休会中２クラブ除く）																									
予算執行	当初予算額	１,１４０,０００円		決算額	１,１４０,０００円																								
	補正等																												
	予算額	１,１４０,０００円																											
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																											
事業課題等	引き続き文化祭などで活動の成果発表の場を設け、より多くの市民に興味・関心をもってもらい、新規会員・クラブの獲得に努めたい。																												
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」																											

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 文化・芸術活動の推進		【重点施策】 文化・芸術活動の推進		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課	
事業名	文化祭事業				
事業の目的	文化活動成果発表の機会の場の提供をし、文化活動の振興と普及を図り、文化への理解と市民のふれあいの場を作る。				
事業概要	作品展示や芸能発表、各種イベントを行う文化祭を実行委員会形式で開催する。				
目標 (評価指標)	来場者数	21,000人	第３次長計（前期）【令和７年度】		
達成状況	アフターコロナとして令和元年度以来制限なく実施した。 第１回実行委員会 ６月２２日（木）開催 第２回実行委員会 １２月５日（火）開催 文化祭 開催日 令和５年１１月３日（金・祝）・４日（土） 開催場所 市民総合体育館 ほか 入場者数 １４,７５５人 テーマ 「文化でつなぐ 人・地域・ふるさと岩出」 作品展示 一般作品（３６５点）、そうへいちゃん作品（７点） 幼稚園・保育所等、小中学校等の作品、市民憲章、 障害福祉サービス事業所作品展示、小学生俳画作品展 芸能発表 １日目：保育所４園の発表 ２日目：文化協会芸能部会１４団体の発表 １日目：９１４人 ２日目：３４７人 ふれあいの広場 文化協会（４クラブ）、他８団体 その他 絵手紙体験、生花体験、発明クラブ体験、お茶席コーナー 地区公民館で囲碁大会・将棋大会の実施 令和４年度 入場者数 １１,５４４人 令和３年度 入場者数 ９,８６８人 令和２年度 中止 令和元年度 入場者数 ２０,５５７人				
予算執行	当初予算額	3,017,000円	決算額	2,883,663円	
	補正等				
	予算額	3,017,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	各種催しを例年通り実施するだけでなく、実施場所の変更やパネル展示など新しい要素を加えて実施し、内容の充実を図り、色々な角度から文化に親しんでもらう。 また、学生は団体での出品のみとしていたが、出品を希望する声があったので、多くの方に出品していただける出品資格へ見直す。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 文化・芸術活動の推進 生涯学習の充実		【重点施策】 文化・芸術活動の推進 生涯学習の振興	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課
事業名	公民館フェア事業			
事業の目的	文化教室、公民館利用サークルによる成果発表の場の提供と、友達づくりや市民のふれあいの機会をつくることを目的とする。			
事業概要	文化教室受講生や公民館で文化活動を行っている方の作品展示や芸能発表などを行う公民館フェアを開催する。			
目標 (評価指標)	参加者数	1,500人	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	【公民館フェア】 日時：令和６年３月２日（土）・３日（日） 場所：岩出市総合保健福祉センター 入場者数：1, 859名 ○公民館コンサート（３月３日） 出場団体：15団体 ○公民館ギャラリー（３月２日、３日） 出展団体：17団体、122名			
予算執行	当初予算額	305,000円	決算額	252,150円
	補正等			
	予算額	305,000円		
評価	a	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	公民館フェアについては、新たに設立されたクラブ・サークルにも直接声掛けを行って、参加者の獲得に努める。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習の振興		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課	
事業名	放課後子ども教室推進事業				
事業の目的	安心・安全な子供の居場所を設け、地域の方々の参画を得て、勉強や文化活動、地域住民との交流活動を推進する。				
事業概要	学習活動、文化活動、地域住民との交流活動				
目標 (評価指標)	年間参加者数	2,000人	第３次長計（前期）【令和７年度】		
達成状況	年３回放課後子どもプラン運営委員会開催 社会教育委員会議議長、青少年育成市民会議委員長、保護司会会長、民生・児童委員協議会会長、更生保護女性会会長、小学校ＰＴＡ会長、小学校長代表、教育部長で構成。 市内６小学校で（８５教室、１３９日、参加児童２，２７０人）放課後子ども教室を実施。 学校の時間割変更や講師都合により、実施日の変更はあったが、中止することなく実施することができた。 また、勉強や文化的な活動（読み聞かせ・工作・華道・絵手紙・浴衣着付など）、地域住民との交流活動（マジック）、伝統文化に触れる活動（根来の子守唄・塗工作）により、子供たちが地域の方々と心豊かで健やかに育まれる活動が推進できた。				
予算執行	当初予算額	3,056,000円	決算額	2,276,704円	
	補正等	△ 371,000円			
	予算額	2,685,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	- 新規教室の検討 - 講師・サポーター等教室協力者の調整・確保。 - 空き教室、授業科目、開始時間及び、夏休み期間の予定による活動開始日及び日程時間を学校と調整。募集定員・教室時間数を講師と調整。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習の振興	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課
事業名	生涯学習を考えるつどい事業			
事業の目的	より豊かに充実した生活を送るための生涯学習機会を提供する。			
事業概要	文化祭の前夜祭として生涯学習を考えるつどいを開催			
目標 (評価指標)	参加者数	300人	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	7月６日 開催要項決定 7月１１日 出演候補者選定・交渉開始 8月２２日 チラシ・プログラムについて契約 9月１５日 出演者契約締結 9月２６日 各地区公民館、市民総合体育館、岩出図書館、民俗資料館、あいあいセンター、一乗閣にチラシ配布 10月１日 新聞折込チラシ配布・市ウェブサイトイベント掲載 11月２日 秋を彩る紅色コンサート～トリオの調べ～を開催 261名が参加			
予算執行	当初予算額	1,175,000円	決算額	435,071円
	補正等	△739,000円		
	予算額	436,000円		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	交流の広がりが期待でき、文化を感じられる催しとなるよう出演者・演目について検討する。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習の振興		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課	
事業名	公民館事業（ふれあい・成人・家庭教育）				
事業の目的	６０歳以上対象のふれあい学級、１８歳以上対象の成人講座、保育所（園）・幼稚園・こども園の保護者対象の家庭教育学級を開催し、相互の交流や積極的に地域社会に寄与するための学習活動を行う。				
事業概要	ふれあい学級 年１０回／５学園、成人講座 年１０回、家庭教育学級 年１０回				
目標 （評価指標）	参加者数	３,０００人	第３次長計（前期）【令和７年度】		
達成状況	・ふれあい学級 新型コロナウイルス５類移行後、２部制から原則１部制に戻して開催。５学園で年１０講座開催。５０回１,６４０名参加 ３月講座開催時に開催方法、講座内容、参加理由等のアンケート実施。 ・成人講座 １０月に現地学習を実施。１０回６７７名参加 ２月講座開催時に開催方法、講座内容、参加理由等のアンケート実施。 ・家庭教育学級 ５、６月と１０、１１月に分けて市内保育所（園）・幼稚園・こども園で１回ずつ開催。１０会場７０３名参加 １月に保育所等を対象とした開催日程、講座内容等のアンケート実施。				
予算執行	当初予算額	１,３３７,０００円	決算額	６８１,６２５円	
	補正等	△４３４,０００円			
	予算額	９０３,０００円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	参加者や保育所等へのアンケート結果を活用し、市民の学習ニーズに対応した講座メニュー、講演会講師などの選定、募集の仕方、開催方法について工夫するなど、より良い事業となるよう努めていく。令和５年度から成人講座の対象年齢を１８歳以上に引き下げた。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習の振興		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課	
事業名	公民館教室事業				
事業の目的	市民のニーズにあった教室を開催し、学習機会の提供と、学ぶことの楽しさと市民のふれあいの場をつくる。高度情報化社会に対応するため、市民のパソコン操作の基礎能力の習得を目的とする。				
事業概要	書道教室、料理Ⅰ教室、陶芸教室、体操教室等を開催。パソコン基礎教室の開催（基礎操作から文書作成、インターネット検索、表作成等の応用編まで３６回コース）				
目標 （評価指標）	参加者数	300人	第３次長計（前期）【令和７年度】		
達成状況	・公民館文化教室：知識や技術を身につけるだけでなく、共に学習する仲間として人と人の結びつきを深めることを目的としている。教室修了者の一部の方は教室生同士でサークルを結成し、学習を継続されている。 【令和５年度実施教室】 初歩の書道、中級の書道、毛筆・ペン字、読み聞かせ・朗読、ヤムナ&ピラティス、男の料理、健康料理、季節の和菓子、初心者のための手話、フラワーアート、陶芸、健康体操、ガーデニング（入門）、はじめてのえんぴつ画、子供クッキング、少年少女コーラス、らくらく体操、姿勢が良くなるストレッチ 受講者数 ２５２人 季節の和菓子、姿勢が良くなるストレッチは令和５年度から実施。 ※実績内訳別紙 ・パソコン教室：パソコンの技術を基本操作から習得し、共に学習する仲間と人と人の結びつきを深めることを目的としている。多くの方がパソコンの技術を取得されるとともに、交流も深められた。 【令和５年度実施教室】 パソコン教室Ａ（午前の部）・パソコン教室Ｂ（午後の部） 受講者数 １７人 ※実績内訳別紙				
予算執行	当初予算額	3,709,000円	決算額	3,248,198円	
	補正等	△ 377,000円			
	予算額	3,332,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	ヤムナ&ピラティス、季節の和菓子など人気の講座は一部定員を増やして引き続き実施。 受講状況やアンケート結果を考慮して、定員の増減や講座内容の検討を図る。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

令和５年度 文化教室 実績

教室名	定員	受講者数	延参加人数	開催回数
初歩の書道	20人	11人	138人	20回
中級の書道	20人	10人	153人	20回
毛筆・ペン字	20人	17人	106人	11回
読み聞かせ・朗読	15人	10人	171人	20回
ヤムナ&ピラティス	15人	15人	208人	18回
男の料理	12人	9人	80人	11回
健康料理	12人	10人	88人	11回
季節の和菓子	12人	12人	109人	11回
初心者のための手話	30人	30人	558人	20回
フラワーアート	20人	16人	126人	11回
陶芸	15人	14人	144人	11回
健康体操	15人	12人	183人	20回
ガーデニング（入門）	20人	19人	172人	11回
はじめてのえんぴつ画	20人	20人	254人	19回
子どもクッキング	12人	13人	106人	11回
少年少女コーラス	20人	7人	116人	20回
らくらく体操	15人	12人	189人	20回
姿勢が良くなるストレッチ	15人	15人	185人	15回
計	308人	252人	3,086人	280回

令和５年度 パソコン教室 実績

教室名	定員	受講者数	延参加人数	開催回数
パソコンA	10人	10人	239人	36回
パソコンB	10人	7人	187人	36回
計	20人	17人	426人	72回

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習の振興		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課	
事業名	公民館講座事業				
事業の目的	障害の有無にかかわらず様々な活動に取り組むきっかけをすることにより、市民の交流の場を作るとともに生涯学習の推進を図ることを目的とする。				
事業概要	夏休みと冬休みの子供向けの講座、冬期の一般向け講座を開催する。				
目標 (評価指標)	参加者数	300人	第３次長計（前期）【令和７年度】		
達成状況	【公民館講座】 ・夏のこども講座 サマーッキング ４回（7/24、7/25、7/28、7/31） 定員 72名（各回 18名）受講者数 計 67名（応募者数計 134名） 茶道体験教室 全 3 回（7/27、8/3、8/10） 定員 20名 受講（応募）者数 7名 ・冬のこども講座 ４回（1/28、2/4 各午前午後の２部制） 親子１組で参加の和菓子教室を実施（保護者１名につき児童２名まで可） 定員 80組（各回 20組※組数のみ定員を設け、人数の定員設定はなし） 受講者数 計 72組 158名（応募者数 計 106組 235名） ・冬の一般講座 リラックスヨガ １回（3/17）定員 20名 受講者数 19名（応募者数 54名） ・障害者対象講座 書道講座 ２回（8/30、11/27） 定員 20名（各回 10名） 受講者数 計 21名（応募者数 計 22名） ヨガ講座 ２回（9/27、11/22） 定員 20名（各回 10名） 受講者数 計 13名（応募者数 計 17名） マカロニアート講座 １回（12/8） 定員 10名 受講者数 計 11名（応募者数 計 12名）				
予算執行	当初予算額	194,000円	決算額	183,174円	
	補正等				
	予算額	194,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	こども講座はコロナによる人数制限の撤廃に伴い、学年による差をなくして実施したが、低学年と高学年で作業の進捗に大きく差が見られたので、対象学年については検討が必要。 一般講座・障害者対象講座は講座内容の充実に努める。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習施設の整備		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課	
事業名	地区公民館運営事業				
事業の目的	生涯学習を推進するための拠点として機能と施設の整備の充実を図る。				
事業概要	地区公民館の運営・管理及び施設の改修（修繕）				
目標 （評価指標）	利用者数	60,000人	第３次長計（前期）【令和７年度】		
達成状況	・ 管理人雇用 １１人 ４月１日辞令交付 シルバー人材センターとの派遣委託 ・ 貸館利用件数 ４,836件（令和４年度 ４,811件） 利用人数 54,616人（令和４年度 49,142人） 【工事】 根来地区公民館・・・空調設備改修工事、空調設備点検口設置工事 【その他修繕】 中央公民館・・・図書室空調室内機修繕、湯沸室ガス湯沸器取替修繕 根来地区公民館・・・駐車場南側フェンス破損箇所修繕 上岩出地区公民館・・・受水槽給水管等漏水修繕 紀泉台地区公民館・・・消防設備修繕 など				
予算執行	当初予算額	69,739,000円	決算額	66,129,164円	
	補正等	△ 1,511,000円			
	予算額	68,228,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	令和５年５月にコロナによる制限を解除して貸館を実施したため利用者数は回復したが、建築から４０～５０年経過している施設が大多数を占めるため、長寿命化計画に基づき、改修等の対策を進めていく必要がある。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																																		
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興																																		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課																																	
事業名	市民運動会事業																																				
事業の目的	幼児から高齢者までの全ての市民が一堂に会し、スポーツ・レクリエーション活動に親しみ、市民相互の親睦とスポーツを通しての健康・体力づくりを行う動機付けを図るとともに、市民の交流を深める。																																				
事業概要	参加者が「スポーツの日」の１日をスポーツで楽しめるよう、運動会種目及びアトラクションを実施する。総合スポーツ大会としては、各体育協会が主導のもと大会を実施する。																																				
目標 (評価指標)	参加人数	10,000人	第３次長計（前期）【令和７年度】																																		
達成状況	○市民運動会 ・参加者推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>(年度)</th> <th>(参加人数)</th> <th>(各年度採用新種目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成２８年度</td> <td>8,571名</td> <td>とにかく明るい玉入れ～安心して下さい割れますよ～、リオから東京へ 感動をありが10、力を合わせて～防災を知ろう！</td> </tr> <tr> <td>平成２９年度</td> <td>8,606名</td> <td>スカッと割ってスカッと玉入れスカッと岩出市、倒せ！ボウリングマン</td> </tr> <tr> <td>平成３０年度</td> <td>8,958名</td> <td>玉入れ半端ないって！俺はくす玉割ったけどね、2019ねんりんピック岩出はベタンク</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>6,034名</td> <td>翔平・なおみに負けるな！くす玉割って玉入れ、ねんりんピック岩出やってみようベタンク</td> </tr> <tr> <td>令和２年度</td> <td>0名</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</td> </tr> <tr> <td>令和３年度</td> <td>682名</td> <td>岩出市こどもスポーツフェスティバル</td> </tr> <tr> <td>令和４年度</td> <td>0名</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</td> </tr> <tr> <td>令和５年度</td> <td>6,650名</td> <td>くす玉割って玉いれましょう、ベタンクやってびったんこ</td> </tr> </tbody> </table> ○総合スポーツ大会（初） <table border="1"> <thead> <tr> <th>(年度)</th> <th>(団体数)</th> <th>(協議種目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和５年度</td> <td>6団体</td> <td>グランドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー</td> </tr> </tbody> </table>				(年度)	(参加人数)	(各年度採用新種目)	平成２８年度	8,571名	とにかく明るい玉入れ～安心して下さい割れますよ～、リオから東京へ 感動をありが10、力を合わせて～防災を知ろう！	平成２９年度	8,606名	スカッと割ってスカッと玉入れスカッと岩出市、倒せ！ボウリングマン	平成３０年度	8,958名	玉入れ半端ないって！俺はくす玉割ったけどね、2019ねんりんピック岩出はベタンク	令和元年度	6,034名	翔平・なおみに負けるな！くす玉割って玉入れ、ねんりんピック岩出やってみようベタンク	令和２年度	0名	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	令和３年度	682名	岩出市こどもスポーツフェスティバル	令和４年度	0名	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	令和５年度	6,650名	くす玉割って玉いれましょう、ベタンクやってびったんこ	(年度)	(団体数)	(協議種目)	令和５年度	6団体	グランドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー
(年度)	(参加人数)	(各年度採用新種目)																																			
平成２８年度	8,571名	とにかく明るい玉入れ～安心して下さい割れますよ～、リオから東京へ 感動をありが10、力を合わせて～防災を知ろう！																																			
平成２９年度	8,606名	スカッと割ってスカッと玉入れスカッと岩出市、倒せ！ボウリングマン																																			
平成３０年度	8,958名	玉入れ半端ないって！俺はくす玉割ったけどね、2019ねんりんピック岩出はベタンク																																			
令和元年度	6,034名	翔平・なおみに負けるな！くす玉割って玉入れ、ねんりんピック岩出やってみようベタンク																																			
令和２年度	0名	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止																																			
令和３年度	682名	岩出市こどもスポーツフェスティバル																																			
令和４年度	0名	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止																																			
令和５年度	6,650名	くす玉割って玉いれましょう、ベタンクやってびったんこ																																			
(年度)	(団体数)	(協議種目)																																			
令和５年度	6団体	グランドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー																																			
予算執行	当初予算額	4,605,000円	決算額	3,860,434円																																	
	補正等	△98,000円																																			
	予算額	4,507,000円																																			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																																			
事業課題等	実施内容についてマンネリ化の傾向が見られるため、関係各所から意見を聴取し、魅力ある運動会となるよう努める。 また、スポーツ推進委員会による演技種目、アトラクション、ニュースポーツコーナー等、趣向を凝らした運動会となるよう検討する。 また、総合スポーツ大会では、多くの市民がスポーツに触れ合うことができる仕組みを構築し、実施協会の増加を目指す。																																				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」																																

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																									
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興																									
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課																								
事業名	市マラソン大会事業																											
事業の目的	市民及び参加者に、健康・体力づくりをするための生涯スポーツの普及と振興を推進するとともに、マラソン大会を開催することにより、岩出市を広く内外にアピールする。																											
事業概要	一般１０ｋｍ・５ｋｍ 小学生３ｋｍ ファミリー２ｋｍに分け、早春の根来路を走る。																											
目標 (評価指標)	エントリー人数	3,000人	第３次長計（前期）【令和７年度】																									
達成状況	令和元年度 エントリー 2,973名、参加 0名 令和２年度 エントリー 400名、参加 342名 令和３年度 エントリー 1,064名、参加 0名 令和４年度 エントリー 1,234名、参加 1,106名 令和５年度 エントリー 1,274名 参加 1,163名、コスプレ16組 エントリー者推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>1,466名</td> <td>293名</td> <td>433名</td> <td>493名</td> <td>524名</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>1,507名</td> <td>107名</td> <td>631名</td> <td>741名</td> <td>750名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,973名</td> <td>400名</td> <td>1,064名</td> <td>1,234名</td> <td>1,274名</td> </tr> </tbody> </table>					R元	R2	R3	R4	R5	市内	1,466名	293名	433名	493名	524名	市外	1,507名	107名	631名	741名	750名	計	2,973名	400名	1,064名	1,234名	1,274名
	R元	R2	R3	R4	R5																							
市内	1,466名	293名	433名	493名	524名																							
市外	1,507名	107名	631名	741名	750名																							
計	2,973名	400名	1,064名	1,234名	1,274名																							
予算執行	当初予算額	4,300,000円		決算額	4,256,663円																							
	補正等																											
	予算額	4,300,000円																										
評価	c	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																										
事業課題等	実施内容について、マラソンコース周辺住民の同意を得られる地域に15kmコースを設定するとともに、関係各所から意見を聴取し、参加意欲を増進できるような内容とすることで、参加者の増に繋げていく必要がある。 最重要課題である安心・安全の確保については、現在まで大きな事故は発生していないものの、あらゆるリスクを想定し、参加者の安全確保に向けた取組を引き続き行っていく。 また、道の駅ねごろ歴史の丘と本事業を上手くタイアップさせることで、市の観光振興についても一層貢献できるよう努める。																											
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」																							

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課	
事業名	スポーツ教室事業				
事業の目的	スポーツ教室開催により、スポーツの楽しさを伝えるとともに、健康等体力の増進を図る。また、コミュニティの場を提供する。				
事業概要	健康体力の増進及びふれあいの場を提供するため、各種スポーツ教室を開催				
目標 (評価指標)	参加者数	270人	第３次長計（前期）【令和７年度】		
達成状況	ヨガ教室、エアロビクス教室、ヘルスアップ教室及びウォーキング教室は、気軽にかつ楽しく参加できる取り組みとして、市民の健康増進や交流の場として貢献できた。 親子体操教室は、親と子がコミュニケーションを取りながら運動することができるとともに、３歳児を持つ親たちの交流の場となった。 親子体操教室（定員なし） 水曜日・木曜日コース：全２０回開催　８５名（親４０名、子４５名） ヨガ教室（定員６０名） 全１０回開催　４３名参加 エアロビクス教室（定員６０名） 全１０回開催　３４名参加 ヘルスアップ教室（定員３０名） 全１０回開催　１８名参加 ウォーキング教室（定員２０名） 全１１回開催　１０名参加 計　１９０名 各種ニュースポーツ教室を実施することにより、ニュースポーツを広く周知し、スポーツに親しんでいただけた。 ２月　ニュースポーツ（第１回）　市民プール指定管理社と共催 種目：ポッチャ　参加者数：２５人 ３月　ニュースポーツ（第２回） 種目：モルック　参加者数：１３人 計　　３８名 合計　２２８名				
予算執行	当初予算額	2,042,000円	決算額	1,068,236円	
	補正等	△ 798,000円			
	予算額	1,244,000円			
評価	c	a 期待以上　b 期待どおり　c やや下回る　d 期待以下			
事業課題等	親子体操教室については、例年、３歳児世帯宛てに案内文を直接送付し、参加を促してきたところであり、本年度については、親４０名、子４５名、合計８５名の参加が得られた。受講率が向上するよう周知に努める。 ヨガ教室・エアロビクス教室・ヘルスアップ教室・ウォーキング教室について、気軽さという点で概ね好評をいただいている。今後、市民のニーズが多様化する中、種目の追加、見直しなどの検討が必要である。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																									
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興																									
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課																								
事業名	体育協会助成事業																											
事業の目的	市民の健全なスポーツ及びレクリエーションの奨励に努め、社会人及び青少年の運動競技の振興とその育成強化を補助する。																											
事業概要	体育協会への補助																											
目標 (評価指標)	会員人数	1,700人	第３次長計（前期）【令和７年度】																									
達成状況	市体育協会に所属する２０協会に対して補助を行うことで、各協会の運営について支援することができた。 <table border="1"> <tr> <td>平成３０年度</td> <td>２１協会（５９団体）</td> <td>１,５３１名</td> <td>１,９６３,０００円（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>２１協会（６０団体）</td> <td>１,４４６名</td> <td>１,９６３,０００円（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和２年度</td> <td>２２協会（５５団体）</td> <td>１,３３５名</td> <td>１,９６３,０００円（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和３年度</td> <td>２２協会（５０団体）</td> <td>１,２７２名</td> <td>１,９６３,０００円（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和４年度</td> <td>２１協会（５１団体）</td> <td>１,２４５名</td> <td>１,９６３,０００円（補助額）</td> </tr> <tr> <td>令和５年度</td> <td>２０協会（４９団体）</td> <td>１,２０８名</td> <td>１,９６３,０００円（補助額）</td> </tr> </table> 事業実施の協力を得ている市行事 市民運動会（ニューススポーツコーナー・体力テスト・アトラクション）、市マラソン大会、クリーン缶トリートメント運動イン岩出、いわで夏まつり清掃活動。 大会参加実績 第７８回国民体育大会グラウンドゴルフ競技会 第３６回全国グラウンドゴルフ交歓大会 第５４回全国ママさんバレーボール大会				平成３０年度	２１協会（５９団体）	１,５３１名	１,９６３,０００円（補助額）	令和元年度	２１協会（６０団体）	１,４４６名	１,９６３,０００円（補助額）	令和２年度	２２協会（５５団体）	１,３３５名	１,９６３,０００円（補助額）	令和３年度	２２協会（５０団体）	１,２７２名	１,９６３,０００円（補助額）	令和４年度	２１協会（５１団体）	１,２４５名	１,９６３,０００円（補助額）	令和５年度	２０協会（４９団体）	１,２０８名	１,９６３,０００円（補助額）
平成３０年度	２１協会（５９団体）	１,５３１名	１,９６３,０００円（補助額）																									
令和元年度	２１協会（６０団体）	１,４４６名	１,９６３,０００円（補助額）																									
令和２年度	２２協会（５５団体）	１,３３５名	１,９６３,０００円（補助額）																									
令和３年度	２２協会（５０団体）	１,２７２名	１,９６３,０００円（補助額）																									
令和４年度	２１協会（５１団体）	１,２４５名	１,９６３,０００円（補助額）																									
令和５年度	２０協会（４９団体）	１,２０８名	１,９６３,０００円（補助額）																									
予算執行	当初予算額	１,９６３,０００円	決算額	１,９６３,０００円																								
	補正等																											
	予算額	１,９６３,０００円																										
評価	c	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																										
事業課題等	スポーツ離れに歯止めをかけるべく、新たな団体の協会への加入促進を図っている。積極的に協会加入を促しているところもあれば、一部の協会は高齢化し、新規協会の確保に向けて積極性がないところもあるため、それらの団体に対するフォローが必要である。 各協会がチラシ等で新規協会員を募る場合、総合体育館の掲示板利用など、機会の提供に努める。 また、市民運動会においても、引き続き、ニューススポーツコーナーで競技の魅力を知ってもらい、新規協会員獲得に繋げていく。																											
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」																							

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																																	
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興																																	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課																																
事業名	スポーツ少年団助成事業																																			
事業の目的	スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活発化を図り、青少年にスポーツを振興し、もって青少年の心身の健全な育成に資する。																																			
事業概要	市スポーツ少年団各団への助成																																			
目標 (評価指標)	加入割合	25%	第３次長計（前期）【令和７年度】																																	
達成状況	○少年団数の変遷																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>団数</th> <th>団員数</th> <th>補 助 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成２９年度</td> <td>１７団</td> <td>６５４名</td> <td>２,２４４,０００円</td> </tr> <tr> <td>平成３０年度</td> <td>１８団</td> <td>７１４名</td> <td>２,２４４,０００円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>１８団</td> <td>６５０名</td> <td>２,２４４,０００円</td> </tr> <tr> <td>令和２年度</td> <td>１８団</td> <td>５６８名</td> <td>２,２４４,０００円</td> </tr> <tr> <td>令和３年度</td> <td>１７団</td> <td>６２８名</td> <td>２,２４４,０００円</td> </tr> <tr> <td>令和４年度</td> <td>１７団</td> <td>５７４名</td> <td>２,２４４,０００円</td> </tr> <tr> <td>令和５年度</td> <td>１７団</td> <td>５８９名 ①</td> <td>２,２４４,０００円</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	団数	団員数	補 助 額	平成２９年度	１７団	６５４名	２,２４４,０００円	平成３０年度	１８団	７１４名	２,２４４,０００円	令和元年度	１８団	６５０名	２,２４４,０００円	令和２年度	１８団	５６８名	２,２４４,０００円	令和３年度	１７団	６２８名	２,２４４,０００円	令和４年度	１７団	５７４名	２,２４４,０００円	令和５年度	１７団	５８９名 ①	２,２４４,０００円
	年 度	団数	団員数	補 助 額																																
	平成２９年度	１７団	６５４名	２,２４４,０００円																																
	平成３０年度	１８団	７１４名	２,２４４,０００円																																
	令和元年度	１８団	６５０名	２,２４４,０００円																																
	令和２年度	１８団	５６８名	２,２４４,０００円																																
	令和３年度	１７団	６２８名	２,２４４,０００円																																
	令和４年度	１７団	５７４名	２,２４４,０００円																																
	令和５年度	１７団	５８９名 ①	２,２４４,０００円																																
令和５年７月末児童数 ２,８８６名 ②																																				
スポ小加入割合 20.41% (①÷②)																																				
○大会参加実績																																				
(全国)																																				
第２３回全日本少年少女空手道選手権大会																																				
全農杯２０２３年全日本卓球選手権大会																																				
第１７回全国中学生少林寺拳法大会																																				
第３９回若葉カップ全国小学生バドミントン大会																																				
第３７回全国ホープス西日本ブロック卓球大会																																				
第３６回全国小学生ハンドボール大会（男子）（女子）																																				
第２４回ダイハツ全国小学生ＡＢＣバドミントン大会																																				
ＪＯＣジュニアオリンピックカップ２０２３年全日本卓球選手権大会（カデットの部）																																				
ＴＯＫＹＯ ＯＰＥＮ ２０２４																																				
第７６回東京卓球選手権大会（一般・年代別・ジュニア・カデットの部）																																				
第７６回東京卓球選手権大会（ホープス・カブの部）																																				
第３２回全国小学生バドミントン選手権大会																																				
第２４回全日本中学生バドミントン選手権大会																																				
(近畿)																																				
第４１回近畿ブロックスポーツ少年団バレーボール交流大会																																				
第３２回全国小学生バドミントン選手権大会近畿ブロック予選会																																				
第１０回近畿少年少女空手道選手権大会																																				
第４回近畿ブロック少林寺拳法スポーツ少年団交流大会																																				
(県)																																				
第５回ＭＴＫ弁慶旗争奪学童軟式野球大会																																				
○その他																																				
団員確保に向けて、総合体育館掲示板に通年で募集チラシを掲示したほか、「一日体験会」を実施した。																																				

予算執行	当初予算額	2,244,000円	決算額	2,244,000円
	補正等			
	予算額	2,244,000円		
評価	c	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	未加入スポーツの取組や各団体へ団員の増についての方策を探るとともに、スポーツ離れにならないよう、小学校などに団員募集チラシを配置していただくなど、団員数の増加を図る。 「一日体験会」については、引き続き実施する。 児童生徒にいかにスポーツの魅力を発信できるか、また、生涯スポーツの裾野を拡大させられるかということが重要であり、団員数の多少に関わらず、継続検討しなければならない。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課	
事業名	大会等選手派遣補助事業				
事業の目的	スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に要する経費の一部を補助する。団体・個人への旅費補助（特定団体）				
事業概要	全国・近畿・県大会への補助（体育協会、スポーツ少年団）				
目標 （評価指標）	なし	理由	全国大会等に出場する場合の補助であるため目標設定に適さないため		
達成状況	本年度は、全国大会１６件、近畿大会４件、県大会１件、計２１件の派遣補助を行い、スポーツの振興を図ることができた。 体育協会 ２団体（全国３件、近畿０件、県０件） スポーツ少年団 ８団体（全国１３件、近畿４件、県１件） 平成３０年度 １２団体 １, ６５９, ７４０円（補助額） 令和 元年度 １３団体 ８３０, ２２０円（補助額） 令和 ２年度 ６団体 ３４６, ３９０円（補助額） 令和 ３年度 ５団体 ６００, ９５０円（補助額） 令和 ４年度 １０団体 １, ２９３, ５５８円（補助額） 令和 ５年度 １０団体 １, ３２５, ３０８円（補助額）				
予算執行	当初予算額	１, ８６０, ０００円		決算額	１, ９７５, ７５３円
	補正等	１１６, ０００円			
	予算額	１, ９７６, ０００円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	スポ少・体協の各団体の全国・近畿・県大会への出場回数が流動的であることや、大会の開催場所の変更による旅費金額の変動があるため、当初予算内での対応が難しい場合がある。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 生涯スポーツの振興	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課
事業名	スポーツ・レクリエーション事業			
事業の目的	多様化する市民のスポーツ・レクリエーションニーズを把握し、市民のスポーツへの関心や参加意欲を向上させ、交流を促進するため、スポーツ大会やスポーツ教室などを開催する。			
事業概要	市民スポーツ大会・教室の開催			
目標 (評価指標)	満足度	64.9%	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	各種ニュースポーツ教室を実施することにより、ニュースポーツを広く周知し、スポーツに親しんでいただけた。 ２月 ニュースポーツ（第１回） 市民プール指定管理社と共催 種目：ボッチャ 参加者数：25人 ３月 ニュースポーツ（第２回） 種目：モルック 参加者数：13人			
予算執行	当初予算額		決算額	
	補正等			
	予算額			
評価	c	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	馴染みがないニュースポーツであるため、市の広報紙やウェブサイト掲載等、ニュースポーツの魅力を広く周知し、教室や講習会への積極的な参加を促す。			
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																										
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 スポーツ環境の整備																										
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課																									
事業名	スポーツ施設運営事業																												
事業の目的	市民に安全かつ快適に施設を利用してもらい、気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむとともに、健康づくりや交流を深めるための場を提供する。健康と体力の増進を図るとともに、催し物の充実を図る。																												
事業概要	市民に安全かつ快適に施設利用してもらうため、日々施設内点検を心がけるとともに、サービス向上に取り組む。卓球・バドミントン等・スポーツで体力づくり・余暇を楽しむ。																												
目標 (評価指標)	施設使用者数	360,000人	第３次長計（前期）【令和７年度】																										
達成状況	フリー開放（アリーナで遊ぼう）については、５回実施。（６月、８月、１２月、１月、２月） ニュースポーツ教室については、２回実施。（２月、３月） <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">(施設名)</td> <td colspan="4">(施設利用者数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(令和５年度)</td> <td>(令和４年度)</td> <td colspan="2">(令和３年度)</td> </tr> <tr> <td>総合体育館</td> <td>69,732人</td> <td>59,100人</td> <td colspan="2">42,957人</td> </tr> <tr> <td>市立体育館</td> <td>44,390人</td> <td>41,289人</td> <td colspan="2">36,032人</td> </tr> <tr> <td>スポーツ広場</td> <td>44,492人</td> <td>47,513人</td> <td colspan="2">41,453人</td> </tr> </table>				(施設名)	(施設利用者数)					(令和５年度)	(令和４年度)	(令和３年度)		総合体育館	69,732人	59,100人	42,957人		市立体育館	44,390人	41,289人	36,032人		スポーツ広場	44,492人	47,513人	41,453人	
(施設名)	(施設利用者数)																												
	(令和５年度)	(令和４年度)	(令和３年度)																										
総合体育館	69,732人	59,100人	42,957人																										
市立体育館	44,390人	41,289人	36,032人																										
スポーツ広場	44,492人	47,513人	41,453人																										
予算執行	当初予算額	88,745,000円	決算額	57,770,524円																									
	補正等	△30,818,000円																											
	予算額	57,927,000円																											
評価	c	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																											
事業課題等	施設の利用者数については、前年度から復調傾向にあるが、コロナ禍前の水準には達していない。 その中で、施設の安全面を強化し、市民が快適に利用できるよう整備を行い、利用者数の増加につなげたい。																												
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」																								

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち																																																																											
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 スポーツ環境の整備																																																																											
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課																																																																										
事業名	スポーツ施設整備事業																																																																													
事業の目的	市民の方々に、安全かつ快適に利用してもらうために、体育施設の整備を充実させる。																																																																													
事業概要	施設の整備・点検・改修工事等を実施する。																																																																													
目標 (評価指標)	なし	理由	修繕や工事の類を事業としているため																																																																											
達成状況	・工事実績 <table border="0"> <tr><td>大宮緑地総合運動公園法面草刈工事</td><td>2, 299, 000円</td></tr> <tr><td>新池（根来）伐竹工事</td><td>1, 375, 000円</td></tr> <tr><td>根来若もの広場西側駐車場樹木伐採工事</td><td>699, 600円</td></tr> <tr><td>総合体育館高圧受電設備（コンデンサ）取替工事</td><td>937, 200円</td></tr> <tr><td>総合体育館・市立体育館照明取替工事</td><td>1, 136, 300円</td></tr> <tr><td>総合体育館東側出入口バリカー取替工事</td><td>469, 700円</td></tr> <tr><td>高齢者用スポーツ施設整備工事</td><td>63, 407, 300円</td></tr> <tr><td>高齢者用スポーツ施設天然芝生化新設工事</td><td>1, 197, 900円</td></tr> <tr><td>高齢者用スポーツ施設量水標移設工事（前払金）</td><td>4, 370, 000円</td></tr> <tr><td>高齢者用スポーツ施設舗装工事（前払金）</td><td>16, 710, 000円</td></tr> <tr><td>高齢者用スポーツ施設根固めブロック設置工事その２（前払金）</td><td>2, 390, 000円</td></tr> </table> （繰越） <table border="0"> <tr><td>高齢者用スポーツ施設整備工事その２</td><td>41, 933, 100円</td></tr> <tr><td>高齢者用スポーツ施設天然芝生化新設工事</td><td>29, 645, 000円</td></tr> <tr><td>高齢者用スポーツ施設根固めブロック設置工事</td><td>19, 772, 500円</td></tr> </table> ・修繕実績 <table border="0"> <tr><td>総合体育館施設等補修修繕</td><td>49, 500円</td></tr> <tr><td>大宮緑地総合運動公園仮設トイレ洗浄管修繕</td><td>17, 600円</td></tr> <tr><td>総合体育館２Ｆ男子トイレ修繕</td><td>46, 750円</td></tr> <tr><td>大宮緑地総合運動公園内ボール型時計修繕</td><td>497, 200円</td></tr> <tr><td>大宮緑地総合運動公園内ボール式時計補修修繕</td><td>27, 500円</td></tr> <tr><td>大宮緑地総合運動公園内ボール式時計補修修繕</td><td>392, 700円</td></tr> <tr><td>総合体育館小ホール移動観覧席緊急初期対応修繕</td><td>171, 600円</td></tr> <tr><td>総合体育館大ホールフロアヒンジ交換修繕</td><td>137, 500円</td></tr> <tr><td>総合体育館大ホールカーテン修繕</td><td>237, 600円</td></tr> <tr><td>市立体育館転落防止柵修繕</td><td>49, 500円</td></tr> <tr><td>若もの広場テニスコート前トイレ屋根撤去修繕</td><td>49, 500円</td></tr> <tr><td>総合体育館消防用設備点検時不良箇所修繕</td><td>203, 500円</td></tr> <tr><td>総合体育館高圧受電ブレーカー交換修繕</td><td>229, 900円</td></tr> <tr><td>総合体育館自動火災報知設備修繕</td><td>2, 046, 000円</td></tr> <tr><td>若もの広場テニスコート前トイレ塗装修繕</td><td>49, 500円</td></tr> <tr><td>大宮緑地総合運動公園内野球ベンチ屋根修繕</td><td>132, 000円</td></tr> <tr><td>岡田スポーツ広場グラウンド修繕</td><td>134, 200円</td></tr> <tr><td>大宮緑地総合運動公園内ベンチ修繕</td><td>108, 900円</td></tr> <tr><td>若もの広場防球ネット張替修繕</td><td>243, 100円</td></tr> <tr><td>市立体育館非常警報器具及び設備修繕</td><td>35, 369円</td></tr> <tr><td>大宮緑地総合運動公園緊急漏水修繕</td><td>371, 800円</td></tr> <tr><td>大宮緑地総合運動公園トイレ修繕</td><td>49, 940円</td></tr> <tr><td>総合体育館等手洗い・トイレ修繕</td><td>34, 100円</td></tr> </table>				大宮緑地総合運動公園法面草刈工事	2, 299, 000円	新池（根来）伐竹工事	1, 375, 000円	根来若もの広場西側駐車場樹木伐採工事	699, 600円	総合体育館高圧受電設備（コンデンサ）取替工事	937, 200円	総合体育館・市立体育館照明取替工事	1, 136, 300円	総合体育館東側出入口バリカー取替工事	469, 700円	高齢者用スポーツ施設整備工事	63, 407, 300円	高齢者用スポーツ施設天然芝生化新設工事	1, 197, 900円	高齢者用スポーツ施設量水標移設工事（前払金）	4, 370, 000円	高齢者用スポーツ施設舗装工事（前払金）	16, 710, 000円	高齢者用スポーツ施設根固めブロック設置工事その２（前払金）	2, 390, 000円	高齢者用スポーツ施設整備工事その２	41, 933, 100円	高齢者用スポーツ施設天然芝生化新設工事	29, 645, 000円	高齢者用スポーツ施設根固めブロック設置工事	19, 772, 500円	総合体育館施設等補修修繕	49, 500円	大宮緑地総合運動公園仮設トイレ洗浄管修繕	17, 600円	総合体育館２Ｆ男子トイレ修繕	46, 750円	大宮緑地総合運動公園内ボール型時計修繕	497, 200円	大宮緑地総合運動公園内ボール式時計補修修繕	27, 500円	大宮緑地総合運動公園内ボール式時計補修修繕	392, 700円	総合体育館小ホール移動観覧席緊急初期対応修繕	171, 600円	総合体育館大ホールフロアヒンジ交換修繕	137, 500円	総合体育館大ホールカーテン修繕	237, 600円	市立体育館転落防止柵修繕	49, 500円	若もの広場テニスコート前トイレ屋根撤去修繕	49, 500円	総合体育館消防用設備点検時不良箇所修繕	203, 500円	総合体育館高圧受電ブレーカー交換修繕	229, 900円	総合体育館自動火災報知設備修繕	2, 046, 000円	若もの広場テニスコート前トイレ塗装修繕	49, 500円	大宮緑地総合運動公園内野球ベンチ屋根修繕	132, 000円	岡田スポーツ広場グラウンド修繕	134, 200円	大宮緑地総合運動公園内ベンチ修繕	108, 900円	若もの広場防球ネット張替修繕	243, 100円	市立体育館非常警報器具及び設備修繕	35, 369円	大宮緑地総合運動公園緊急漏水修繕	371, 800円	大宮緑地総合運動公園トイレ修繕	49, 940円	総合体育館等手洗い・トイレ修繕	34, 100円
大宮緑地総合運動公園法面草刈工事	2, 299, 000円																																																																													
新池（根来）伐竹工事	1, 375, 000円																																																																													
根来若もの広場西側駐車場樹木伐採工事	699, 600円																																																																													
総合体育館高圧受電設備（コンデンサ）取替工事	937, 200円																																																																													
総合体育館・市立体育館照明取替工事	1, 136, 300円																																																																													
総合体育館東側出入口バリカー取替工事	469, 700円																																																																													
高齢者用スポーツ施設整備工事	63, 407, 300円																																																																													
高齢者用スポーツ施設天然芝生化新設工事	1, 197, 900円																																																																													
高齢者用スポーツ施設量水標移設工事（前払金）	4, 370, 000円																																																																													
高齢者用スポーツ施設舗装工事（前払金）	16, 710, 000円																																																																													
高齢者用スポーツ施設根固めブロック設置工事その２（前払金）	2, 390, 000円																																																																													
高齢者用スポーツ施設整備工事その２	41, 933, 100円																																																																													
高齢者用スポーツ施設天然芝生化新設工事	29, 645, 000円																																																																													
高齢者用スポーツ施設根固めブロック設置工事	19, 772, 500円																																																																													
総合体育館施設等補修修繕	49, 500円																																																																													
大宮緑地総合運動公園仮設トイレ洗浄管修繕	17, 600円																																																																													
総合体育館２Ｆ男子トイレ修繕	46, 750円																																																																													
大宮緑地総合運動公園内ボール型時計修繕	497, 200円																																																																													
大宮緑地総合運動公園内ボール式時計補修修繕	27, 500円																																																																													
大宮緑地総合運動公園内ボール式時計補修修繕	392, 700円																																																																													
総合体育館小ホール移動観覧席緊急初期対応修繕	171, 600円																																																																													
総合体育館大ホールフロアヒンジ交換修繕	137, 500円																																																																													
総合体育館大ホールカーテン修繕	237, 600円																																																																													
市立体育館転落防止柵修繕	49, 500円																																																																													
若もの広場テニスコート前トイレ屋根撤去修繕	49, 500円																																																																													
総合体育館消防用設備点検時不良箇所修繕	203, 500円																																																																													
総合体育館高圧受電ブレーカー交換修繕	229, 900円																																																																													
総合体育館自動火災報知設備修繕	2, 046, 000円																																																																													
若もの広場テニスコート前トイレ塗装修繕	49, 500円																																																																													
大宮緑地総合運動公園内野球ベンチ屋根修繕	132, 000円																																																																													
岡田スポーツ広場グラウンド修繕	134, 200円																																																																													
大宮緑地総合運動公園内ベンチ修繕	108, 900円																																																																													
若もの広場防球ネット張替修繕	243, 100円																																																																													
市立体育館非常警報器具及び設備修繕	35, 369円																																																																													
大宮緑地総合運動公園緊急漏水修繕	371, 800円																																																																													
大宮緑地総合運動公園トイレ修繕	49, 940円																																																																													
総合体育館等手洗い・トイレ修繕	34, 100円																																																																													

予算執行	当初予算額	2 3 4, 4 2 9, 0 0 0円	決算額	1 9 1, 6 5 7, 8 5 9円	
	補 正 等	△ 4 2, 6 6 6, 8 0 0円			
	予 算 額	1 9 1, 7 6 2, 2 0 0円			
評 価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	市民ニーズの把握については、市政懇談会・インターネット意見箱・アンケートなどが考えられるが、新施設建設にあたっては、様々な状況を勘案し総合的に判断していかなければならない。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 人権が尊重されるまち		
	【基本施策】 人権尊重の推進		【重点施策】 人権尊重の意識醸成 人権教育の推進		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課	
事業名	人権教育啓発事業				
事業の目的	人権尊重思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広め、また未来を担う子供たちが「心豊かで思いやりのある子供」に育つことを願い、人権意識を高める。				
事業概要	人権講演会、保護者学級、小・中学生人権作文、人権ポスター				
目標 (評価指標)	なし	理由	人権に関連したテーマで講演会を市長公室・スポーツ健康係・図書館で持ち回り実施している事業であり、目標設定数値化が困難なため		
達成状況	・人権講演会（法務省人権啓発活動地方委託事業） 人権問題に対する正しい認識を広めるため、7/29東京パラリンピックシッティングバレーボール日本代表嵯峨根望氏を講師に迎え岩出市スポーツ少年団指導者協議会と共催して人権講演会を開催。参加者１０５名 ・保護者学級 各小学校の実情に応じて保護者学級を開催。県補助金交付対象３小学校 ・小・中学生人権作文集 小中学生の作文１６点及び和歌山県人権啓発ポスターコンテスト入選作品８点を掲載し４，７００冊発行。 ・人権ポスターコンテスト応募作品 丹鶴ホール（新宮市）にて開催「人権のつどい」において和歌山県人権啓発ポスターコンテスト入賞作品８点展示。 市文化祭において小中学生の作品２０６点展示。				
予算執行	当初予算額	１，４５９，０００円		決算額	１，２５３，８４１円
	補正等				
	予算額	１，４５９，０００円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	市民の人権意識の向上を図るため、社会情勢・実情を踏まえた案件を取り入れるなど様々なテーマで市民ニーズに即した講演会出演者の選考、開催方法の検討を要する。				
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」			

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第５章 にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち		
	【基本施策】 文化遺産の保護・活用		【重点施策】 文化遺産の調査研究と保護・活用		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日	担当課	生涯学習課		
事業名	国史跡根来寺境内周辺保全管理事業				
事業の目的	平成２５年度実施の保存管理計画事業を引き継ぎ、事業効果を総合的・多面的に評価しながら史跡根来寺境内周辺の保全・管理を図る。				
事業概要	史跡根来寺境内とその周辺について検討を要する事案が生じたときに、委員会を開催し、委員の指導助言を参考に適正な保全を図る。				
目標 (評価指標)	なし	理由	目標値の設定にはそぐわないため。		
達成状況	国史跡根来寺境内とその周辺において、検討を要する事案について各委員と個別に協議や意見交換等を行い、必要に応じて委員会を開催し、史跡根来寺境内周辺保全管理について検討することができた。 ３月２６日に開催した委員会では根来寺本坊において実施し、根来寺で計画されている根来寺本坊新築工事について、必要な措置等のご意見を各委員からいただいた。				
予算執行	当初予算額	239,000円	決算額	36,110円	
	補正等				
	予算額	239,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	根来寺本坊新築工事については、来年度に本坊の解体工事が始まることから、埋蔵文化財の確認調査の実施に向け、必要な措置を講じていく必要がある。 関係機関と連携し、史跡並びに名勝の適切な管理を行うため、引き続き委員会の助言を受けながら関係機関との密なる連携と情報の共有を図り対応していく。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第５章 にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち	
	【基本施策】 文化遺産の保護・活用		【重点施策】 文化遺産の調査研究と保護・活用 文化遺産の公開	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課
事業名	文化遺産保存活用事業			
事業の目的	岩出市内に所在する文化財を適切に保存・管理し、次世代に継承していく。 岩出市内に所在する文化遺産の保存と活用を図る。			
事業概要	指定文化財等の保存・管理・修理・保全に要する経費の一部を補助する。文化財の史資料の整理と保管を行う。文化遺産の保存・活用のための必要な措置を講じる。埋蔵文化財等の公開・活用を行う。			
目標 (評価指標)	なし	理由	目標値の設定にはそぐわないため。	
達成状況	- 指定文化財管理補助 増田家住宅（国指定） ２１０，０００円 自動火災報知設備保守点検、防災施設小修理 上岩出神社（県指定） ３５，０００円 自動火災報知設備保守点検 荒田神社（県指定） ２７，０００円 自動火災報知設備保守点検 根来寺しだれ桜（市指定） １５０，０００円 しだれ桜の樹勢維持管理 - 指定文化財修理補助 上岩出神社（県指定） ２９８，０００円 自動火災報知設備等交換 絹本著色鳥羽天皇像（国指定） １８６，０００円 保存修理 福田家住宅（登録有形） ３６９，０００円 保存修理 - 指定文化財環境整備 船戸山古墳群（県指定） １７９，８１８円 支障木伐採 西国分塔跡（国指定）・下中島の大イチョウ（県指定）・船戸山古墳群（県指定） ２３３，９５３円 草刈り等 - 文化財保護審議会の開催 ４回開催 - 埋蔵文化財の公開・活用 ３件 ねごろ歴史資料館コーナー展示 ほか - 文化遺産普及啓発件数 実施件数 ８件 パネル展示、ふるさと歴史学習会、日本遺産公開講座 他 - 講師等派遣事業 ５件 教職員初任者研修、小学校出前授業（３校）、市民団体の研修			
予算執行	当初予算額	５，２６５，０００円		決算額 ４，０４２，９０６円
	補正等			
	予算額	５，２６５，０００円		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	少子高齢化や生活様式の変化などにより、地域に根付いている文化財の継承が困難になってきている。 指定文化財の所有者や管理者と連携を図り、指定文化財の管理状況等を的確に把握することで、必要な措置を講じていく。 「岩出市文化財保存活用地域計画」の策定に向けた取り組みを行っていく。			
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第５章 にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち		
	【基本施策】 歴史・伝統文化の振興		【重点施策】 伝統文化の継承		
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日		担当課	生涯学習課	
事業名	根来の子守唄等保存活用事業				
事業の目的	古くから唄い継がれてきた「子守唄」の貴重な文化遺産を末永く後世に引き継ぎ、地域文化の発展に寄与することを目的とする。				
事業概要	市民や各種団体との協働による様々な事業を通して、文化資源の普及・啓発に努める。				
目標 (評価指標)	なし	理由	目標値の設定にはそぐわないため。		
達成状況	・ 郷土芸能等保存育成事業 根来の子守唄保存会へ助成 95,000円 根来の子守唄保存会（会員数２２名）の活動実績 毎月１回の練習 各小学校の指定日での指導（放課後こども教室） 市の行事、各種イベントの出演要請による参加 伝承者育成のための事業 WEBサイト、フェイスブックでの発信 ・ 普及・啓発事業 10/15 十津川村大踊り保存会との交流研修会 文化財指定後の保存会活動の問題点や課題等について意見交換を行う。 11/7 「ふるさと感動物語」の開催 タイトル 「うたわんかい おどらんかえ こもりうた！」 学校開放週間を利用して、普及啓発活動を行った。 山崎北小学校 １年生対象 11/24 根来小学校児童会主催「児童会ふるさと根来音楽会」へ参加 根来小学校 全学年対象				
予算執行	当初予算額	875,000円	決算額	281,520円	
	補正等				
	予算額	875,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	多様な取組により、市民への周知は推進されてきているが、子育て世代への普及・啓発が弱い。 教育機関は元より、福祉機関など関係機関との連携を図り、根来の子守唄が市民の生活の中に関りが持てるように努めていく。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯学習の充実	【重点施策】 図書館事業の充実（図書館運営事業）	
評価対象期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日	担当課	岩出図書館
事業名	図書館利用促進事業		
事業の目的	図書紹介や行事案内、サービス内容など様々な情報を発信したり、イベント事業、講演会を開催することにより、市民の図書館に対する理解や関心を深め、図書館利用の促進を図る。		
事業概要	映画会・各種体験教室の開催。図書館主催事業として、利用促進講座を開催。図書館サービスの向上		
目標 （評価指標）	令和５年度図書館評価目標値	図書館入館者数	図書館貸出冊数
	第３次長計（前期）【令和７年度】	１４５，１７０名	３６９，５００冊
	実施計画【令和７年度】	—	４４７，０００冊
達成状況	【映画会】２３回実施		
	図書館ＤＶＤ上映会（図書館主催）	子供５３名、大人７２名、計１２５名	
	アニメ上映会（ボランティア主催）	子供７８名、大人５０名、計１２８名	
	他部署との共催映画会	子供１名、大人１５４名、計１５５名	
	【体験教室】８回実施		
	おりがみ教室	子供１３名、大人６名、計１９名	
	夏休み工作教室（３回）	子供８０名、大人４９名、計１２９名	
	図書館講座「親と子の自由研究」	子供１２名、大人１３名、計２５名	
	防災イベント（２回）	子供４０名、大人４２名、計８２名	
	ゆびあみでドーナツ・リングづくり	子供１５名、大人９名、計２４名	
	【講演会・図書館講座】３回実施		
	図書館講座（２回）	子供０名、大人６８名、計６８名	
	文化文教ゾーン魅力・再発見！！	子供０名、大人１５１名、計１５１名	
	【その他のイベント】２５回実施		
	雑誌リサイクルフェア（２回）	３０７名	
	図書館寄席	子供１１名、大人４８名、計５９名	
	世界ＫＡＭＩＳＨＩＢＡＩの日	子供２名、大人２９名、計３１名	
	イベントラリー	１０９名	
	展示、図書展示（２０回）	図書展示１８回、展示２回	
	【報道機関等への資料提供】 令和５年度の実績は３２件で、前年度よりも１５件増加した。報道機関への資料提供を積極的に行った。		

達成状況	【岩出市文化文教ゾーン連絡協議会】				
	葛城修験について広く周知し、紀の川流域の4市町及び岩出市文化文教ゾーンの活性化を図るため、「地域をむすぶ葛城修験－修験道から生まれた歴史と文化－」を開催したところ、151名の参加があった。ふるさと教育及び市外参加者へのPRができた。				
	【入館者数・貸出冊数】				
		入館者数（名）		貸出冊数（冊）	
		令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
	岩出図書館	122,477	112,946	329,630	326,688
	駅前ライブラリー	7,704	7,358	11,593	12,260
	総合保健福祉センター図書室	10,600	6,080	9,481	9,527
	中央公民館図書室	1,010	949	700	648
	上岩出地区公民館図書室	797	765	892	846
	計	142,588	128,098	352,296	349,969
	目標達成率	98.2%	89.6%	95.3%	94.7%
本館は、入館者数及び貸出冊数ともに前年度実績を上回ったが、目標値には達成しなかった。分館・分室はいずれも入館者数は前年度実績を上回った。駅前ライブラリーは適応指導教室「フレンド」の移転に伴い、令和5年7月1日より1階のみの利用となったため、貸出冊数は減少している。総合保健福祉センター図書室は令和5年度から親子読書支援事業の絵本受取場所としたことにより、入館者数が増加している。					
予算執行	当初予算額	225,000円		決算額	113,643円
	補正等				
	予算額	225,000円			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
事業課題等	新型コロナウイルスの行動制限がなくなったものの、入館者数及び貸出冊数ともにコロナ禍前の状態には戻っていない。コロナ禍を機に、電子図書館を始めているが、どのように利用につなげていくかが今後の課題である。 企画展示及び他機関との連携展示を通じ、相互に広報を行うことで入館者数及び貸出冊数の増加を目指す。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和５年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実	【重点施策】 図書館事業の充実（図書館運営事業）		
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	担当課	岩出図書館	
事業名	図書館ボランティア活動支援事業			
事業の目的	図書館ボランティアの協力を得て各種の講座や催しを行っており、ボランティア活動の活性化を図るため様々な支援を行う。			
事業概要	ボランティアの募集・登録、養成講座の実施 高校生ボランティアの募集・登録及び活動支援(書架整理・映画会・おはなし会・美化活動・図書の補修等)			
目標 (評価指標)	ボランティア登録人数	実施計画【令和7年度】80名		
達成状況	【岩出図書館ボランティア登録者数】 3月末現在 75名 目標達成率93.8%			
	【養成講座】			
	わらべうた講座（第2回）秋に楽しむわらべうた・絵本		14名	
	わらべうた講座（第3回）冬に楽しむわらべうた・絵本		18名	
	【図書館ボランティア活動】			
	おはなしドロップス（おはなし会）	毎月第1・2日曜日	24回	317名
	おはなしのとびら（おはなし会）	毎月第3・4日曜日	23回	340名
	英語でおはなし会（おはなし会）	第5日曜日	4回	61名
	おはなしのじかん（おはなし会）	4・7・10・1月第2土曜日	4回	51名
	映画会グループ（映画会）	7/17・10/21・1/13・3/17	4回	128名
	展示グループ	壁面飾りの製作及び展示		
	創作グループ	布絵本の製作		
	補修グループ	本の補修、装備等（毎週金曜日）		
PRグループ(映画会チラシ作成)	ボランティア主催映画会のチラシ作成（4回）			
インフォメーショングループ	活動休止			
ストーリーテリンググループ	上岩出小学校でストーリーテリングの実施（毎週金曜日）			

達成状況	【高校生ボランティア】				
	高校生ボランティア受入　那賀地方の3校以外の高校にも公募				
	那賀高校	21名	智辯学園和歌山高校	2名	
	粉河高校	15名	市立和歌山高校	1名	
	貴志川高校	5名	向陽高校	1名	
	桐蔭高校	2名	計	47名	
	【大学生ボランティア】				
	和歌山信愛女子短期大学保育科			6名	
予算執行	当初予算額	86,000円	決算額	88,115円	
	補正等				
	予算額	86,000円			
評価	b	a 期待以上　　b 期待どおり　　c やや下回る　　d 期待以下			
事業課題等	継続的に活動していただける図書館ボランティアの養成が課題。学生ボランティアについては近隣の大学等に学生ボランティアの募集を令和5年度より行っており、学生にとって学校での単位取得や「ガクチカ」の一助となるよう努める。また図書館にとっては継続的に活動していただける若い人の発想や力により、魅力ある事業の実施に努める。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート(令和5年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち		
	【基本施策】 生涯学習の充実	【重点施策】 図書館事業の充実(図書館運営事業)		
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	担当課	岩出図書館	
事業名	図書館図書購入事業			
事業の目的	地域密着型図書館として、愛され親しまれ、幼児から高齢者の利用が多い図書資料の収集から、図書館に行けばなんでも調査研究ができるように、各分野に亘って広く購入することで、図書資料の充実を図る。			
事業概要	図書館法第3条並びに岩出図書館基本計画に基づく、図書購入 令和12年度 図書・視聴覚資料 433,520冊 電子書籍 2,356コンテンツ			
目標 (評価指標)	岩出図書館蔵書冊数	433,520冊目標		
	図書館評価(令和5年度末)	目標値(全館・室)		
	図書・視聴覚資料	368,000冊		
	【再掲】郷土資料	4,760冊		
	CD	2,435点		
	DVD	3,106点		
	電子書籍	1,440コンテンツ		
達成状況	【令和5年度図書・視聴覚資料購入実績】 (単位:冊/点)			
			発注予定冊/点数	発注実績冊/点数
	図書	一般図書	6,000	6,059
		児童図書	3,420	3,577
		うち吉村子ども文庫	—	0
		参考図書	100	191
		計	9,520	9,827
		うち吉村子ども文庫	—	0
	視聴覚資料	CD	50	50
		DVD	70	70
		計	120	120
	合計		9,640	9,947
	【令和5年度電子書籍ライセンス購入実績】 (単位:点)			
			発注予定数	発注実績数
	電子書籍		230	230

達成状況	【令和5年度末蔵書冊数】		(単位:冊/点)	
	一般書	241,227		
	児童書	102,210		
	参考図書	7,295		
	視聴覚資料	5,999	CD 2,437 DVD 3,106 その他 456	
	雑誌	10,604		
	複製画	52		
	電子書籍	1,456		
	計	368,843		
	【館・室別蔵書冊数】			
	岩出図書館	330,958	うち電子書籍1,456コンテンツ	
	駅前ライブラリー	20,697		
	総合保健福祉センター	11,613		
	中央公民館	3,441		
	上岩出地区公民館	2,134		
	計	368,843		
	【目標達成率】			
	蔵書冊数	100.2%		
	郷土資料	100.3%		
	CD	100.1%		
	DVD	100.0%		
	電子書籍	101.1%		
	計画どおり購入・収集し、資料の充実に努めた。			
予算執行	当初予算額	25,455,000円	決算額	24,690,674円
	補正等			
	予算額	25,455,000円		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	全体的に蔵書は充実している。今後、郷土資料及び寄贈図書等の登録を積極的に行い、資料の充実に努める。			
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和5年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち																								
	【基本施策】 生涯学習の充実	【重点施策】 図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）																								
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	担当課	岩出図書館																							
事業名	子供読書活動推進事業（青少年読書推進事業）																									
事業の目的	青少年健全育成の観点から、児童、青少年に図書館を活用し本の魅力を知ってもらうため、読書活動を推進する。																									
事業概要	絵本の収集やおはなし会を開催。ヤングアダルトコーナーを設置し資料の充実を図る。また子供読書活動推進計画を策定し、子供読書活動の推進事業として、子供の読書活動を応援するとともに、読書活動への関心と理解を深めるよう取り組む。																									
目標 (評価指標)	児童書蔵書冊数 令和5年度図書館評価目標値 102,300冊 実施計画【令和7年度】 109,000冊																									
達成状況	【イベント】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">テラスであそぼう（2回）</td> <td style="width: 50%;">子供24名、大人16名、計40名</td> </tr> <tr> <td>みんなで書いてみよう！～ちょっとのテクニックでぜんぜんちがう読書感想文～</td> <td>子供30名、大人21名、計51名</td> </tr> <tr> <td>中高生ビブリオバトル岩出市大会</td> <td>バトラー中学生5名・高校生3名、オーディエンス48名 計56名</td> </tr> <tr> <td>岩出第二中学校読書部「二中戦隊どくしょぶズ」</td> <td>子供9名、大人11名、計20名</td> </tr> <tr> <td>おはなしドロップスのイベント</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">たのしいおはなし会</td> <td>子供13名、大人9名、計22名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">六角かわり絵作り</td> <td>子供11名、保護者8名、計19名</td> </tr> </table> 【図書館見学】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">小学校</td> <td style="width: 20%;">11回実施</td> <td style="width: 70%;">児童275名、引率31名、計306名</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>4回実施</td> <td>生徒212名、引率14名、計226名</td> </tr> <tr> <td>保育所</td> <td>1回実施</td> <td>園児46名、引率5名、計51名</td> </tr> </table>			テラスであそぼう（2回）	子供24名、大人16名、計40名	みんなで書いてみよう！～ちょっとのテクニックでぜんぜんちがう読書感想文～	子供30名、大人21名、計51名	中高生ビブリオバトル岩出市大会	バトラー中学生5名・高校生3名、オーディエンス48名 計56名	岩出第二中学校読書部「二中戦隊どくしょぶズ」	子供9名、大人11名、計20名	おはなしドロップスのイベント		たのしいおはなし会	子供13名、大人9名、計22名	六角かわり絵作り	子供11名、保護者8名、計19名	小学校	11回実施	児童275名、引率31名、計306名	中学校	4回実施	生徒212名、引率14名、計226名	保育所	1回実施	園児46名、引率5名、計51名
テラスであそぼう（2回）	子供24名、大人16名、計40名																									
みんなで書いてみよう！～ちょっとのテクニックでぜんぜんちがう読書感想文～	子供30名、大人21名、計51名																									
中高生ビブリオバトル岩出市大会	バトラー中学生5名・高校生3名、オーディエンス48名 計56名																									
岩出第二中学校読書部「二中戦隊どくしょぶズ」	子供9名、大人11名、計20名																									
おはなしドロップスのイベント																										
たのしいおはなし会	子供13名、大人9名、計22名																									
六角かわり絵作り	子供11名、保護者8名、計19名																									
小学校	11回実施	児童275名、引率31名、計306名																								
中学校	4回実施	生徒212名、引率14名、計226名																								
保育所	1回実施	園児46名、引率5名、計51名																								

達成状況	【出前授業】		
	小学校	2 回実施、1 回中止	児童65名、教員等2名、計67名
	【職場体験】		
	職場体験	中学校2校	3名
	【保育所訪問】		
	保育所	4 園	子供183名、保護者434名、計617名
	【展示】		
	日本絵本賞受賞作品展		
	図書館ボランティア展示グループによる壁面飾り展示		
	国語の教科書にのっている本の特別展示		
	【おはなし会】		
	岩出図書館おはなし会	62回	子供567名、大人331名、計898名
	総合保健福祉センター 図書室おはなし会	4回	子供30名、大人21名、計51名
	子育て支援センター おはなし会	12回	子供111名、大人94名、計205名
	【家族ふれあい読書推進事業】		
	・新小学1年生に「うちどくノート」配付		
	・新小学4年生及び新中学1年生に「ブックリスト」を配付		
	・うちどくクイズの実施 参加者16名		
	・「うちどくの記録」展示		
	市内小学校就学時健診でのうちどくPR 6校 保護者477名		
	【親子読書支援事業】		
	・毎月1歳8ヵ月健診対象者への通知送付		
	・親子読書支援事業の絵本引き換え等		
	令和5年度1歳8ヵ月児健康診査対象者	418名	
	うち親子読書支援事業による来館（室）済者	245名	
	令和5年度中に来館した親子読書支援事業過年度対象者	21名	
	※1歳8ヵ月健診時に総合保健福祉センター図書室でも引き換え可		
	【岩出図書館司書派遣事業】		
	・年間37日、各小中学校に司書派遣		
	・学校司書の業務内容プリントを市内小中学校及び全教員に配布		
	・学校とのヒアリング 合同1回、個別8回		

達成状況	【吉村こども文庫】			
	・令和5年度は寄附金を活用し自習席の設置（机、椅子等の購入）をしたため、図書購入の実績なし。			
	【その他】			
	・随時、岩出市内小中学校に図書館イベント案内を配布			
	・市内小中学校に「国語の教科書にのっている本のブックガイド」の配布			
		児童書蔵書冊数(電子書籍含まない)	児童への貸出冊数(電子書籍含む)	(参考)全貸出冊数(電子書籍含む)
	岩出図書館	84,979	73,221	329,630
	駅前ライブラリー	8,833	1,814	11,593
	総合保健福祉センター図書室	6,206	3,428	9,481
	中央公民館図書室	1,276	31	700
	上岩出地区公民館図書室	916	15	892
	計	102,210	78,509	352,296
		令和5年度末	令和5年度	令和5年度
目標達成率	99.9%	91.3%	95.3%	
(参考) 令和元年度実績	88,015	112,598	421,874	

予算執行	当初予算額	313,000円	決算額	196,241円
	補正等			
	予算額	313,000円		

評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下			
----	---	--	--	--	--

事業課題等	コロナ前の令和元年度と比べると、3割減の貸出状況となっている。 今後、第4次岩出市子供読書活動推進計画に基づき、課題を捉え、時流に対応しながら、家庭・地域、学校等と連携し、子供の読書活動の推進に努める。				
-------	--	--	--	--	--

今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」
--------	----	------	-------	------	------

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第5章 にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち	
	【基本施策】 歴史・伝統文化の振興		【重点施策】 歴史・文化資源の活用	
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		担当課	民俗資料館
事業名	民俗資料館展観事業			
事業の目的	郷土の歴史に関する内容での展観事業を行うことにより、市民や次代を担う小・中学生に郷土の歴史の情報や学習の場を提供することを目的とする。			
事業概要	地域に即した内容で、興味を持っていただけるような展示を行う。 収集資料品展（根来漆器）・企画展・特別展を開催する。			
目標 （評価指標）	秋季企画展入館者数	10,600名	第3次長計（前期）【令和7年度】	
達成状況	○収集資料品展：「集まった根来漆器」 会 期：令和5年4月1日～令和6年3月31日 目標/実績 41,400名 / 41,940名（前年度40,885名） ○根来寺関連宝物展：「中世根来寺の歴史と文化－覚鑓・頼瑜・聖憲を中心に－」 会 期：令和5年4月1日～令和5年5月15日 目標/実績 7,500名 / 5,659名 ○秋季企画展：「信長・秀吉・家康と根来寺－根来衆の活動を中心として－」 会 期：令和5年10月18日～令和5年12月11日 目標/実績 10,600名 / 11,656名 ○関連事業の根来寺関連宝物展講演会：「中世根来寺の歴史と文化」 実施日：令和5年4月16日 目標/実績 30名 / 28名 実施日：令和5年4月23日 目標/実績 30名 / 14名 ○関連事業の秋季企画展講演会：「羽柴秀吉の紀州攻め」 実施日：令和5年11月12日 目標/実績 70名 / 53名 ○広報活動の取組 市公共施設や近隣市の資料館等の社会教育施設へのポスター掲示依頼、市広報・ウェブサイトへの掲載、テレビ和歌山のデータ放送や行政情報の放映などを行った。			
予算執行	当初予算額	675,000円	決算額	208,605円
	補正等	△334,000円		
	予算額	341,000円		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		

事業課題等	予定どおり実施できたが、根来寺関連宝物展については展示テーマの設定に課題があったと考えられるが、全体的にはPR活動を自粛したことが大きな要因であるので、広報活動の充実を図り、今後もより楽しんで頂ける内容の展観事業を行うとともに、関連施設などへポスターの掲示を依頼し、掲載場所を増やすことでP Rの充実に努める。				
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和6年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第5章 にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち	
	【基本施策】 歴史・伝統文化の振興		【重点施策】 歴史・文化資源の活用	
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		担当課	民俗資料館
事業名	民俗資料館歴史学習・講座事業			
事業の目的	講演会や歴史講座とあわせて、職員等による歴史学習会を実施し、市民に様々な角度から郷土の歴史や成り立ちについて学びふれあう機会を提供する。			
事業概要	地域に即した内容で、各世代が興味を持って学ぶことができるようなテーマや講師を選定し、多くの市民の方に参加いただけるような講演会・講座・学習会を開催する。			
目標 (評価指標)	歴史講座の合計参加人数	170名	第3次長計（前期）【令和7年度】	
達成状況	○歴史講座 参加人数計 193名 ・第1回 令和5年6月24日 テーマ「根来寺と和泉国の人々」 目標人数/参加人数（申込人数） 56名 / 58名（58名） ・第2回 令和5年9月17日 テーマ「鎌倉時代中・後期の高野山」 目標人数/参加人数（申込人数） 56名 / 68名（68名） ・第3回 令和5年10月22日 テーマ「紀伊徳川家と根来寺」 目標人数/参加人数（申込人数） 56名 / 67名（72名） ○ふるさと歴史学習会（生涯学習課と共催） 実施日：令和5年9月16日 目標/実績 20名 / 11名 ○子ども歴史学習会 ・第1回 令和5年7月23日 テーマ「はにわづくり」 目標人数/参加人数（申込人数） 20名 / 43名（51名） ・第2回 令和5年7月29日 テーマ「まが玉づくり」 目標人数/参加人数（申込人数） 20名 / 46名（57名） ・第3回 令和5年8月11日 テーマ「ふうりんづくり」 目標人数/参加人数（申込人数） 20名 / 24名（24名） ・第4回 令和5年12月23日 テーマ「だるま落とし絵付け体験」 目標人数/参加人数（申込人数） 20名 / 16名（18名） ○広報活動の取組 市公共施設や近隣市の資料館等の社会教育施設へのポスター掲示依頼、市広報・ウェブサイトへの掲載、テレビ和歌山のデータ放送や行政情報の放映などを行った。			
予算執行	当初予算額	191,000円	決算額	194,719円
	補正等	3,800円		
	予算額	194,800円		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		

事業課題等	夏の子ども歴史学習会では、定員を超える申込者数となった。また、冬の子ども歴史学習会では、定員に達しなかった。今後も児童のニーズを十分に把握しながら、新しいテーマの検討も行い実施していく必要がある。			
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」	「完了」 「継続」

岩出市教育委員会 様

令和6年度 教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出
について

私たち評価委員は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により教育委員会から委嘱を受け、令和6年7月16日及び令和6年8月9日の2回にわたり評価委員会を開催した。

令和5年度は、2023年5月8日、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行し、外出自粛の要請や就業制限などがなくなり、実質的には日常生活における制約がほぼない状態となった。

そのような社会情勢の中、「新型コロナ流行前」以上の成果が得られるよう教育委員会2課2館が取り組んだ47事業の評価は、昨年度と比較してa「期待以上」の評価が0事業から1事業へ、b「期待どおり」の評価が34事業から38事業へ、c「やや下回る」の評価が13事業から8事業となった。

結果としてc評価が5事業減となっていることは一定の評価はできるものの、児童生徒に関わる部分として学力向上と教育の情報化2事業が新たにc評価となり、市民全体に係ることとして、スポーツ関連5事業が継続してc評価となったことは解決すべき大きな課題である。

これらの早期課題解決に向け、PDCAサイクルに拘らず、マネジメントサイクルを適切に使い分け、今後の方針・施策に反映させ、継続的に事務改善を図ることを求めるものである。

教育総務課では、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び（令和の日本型学校教育）の実現に向け、そのツールとしてのICTのより一層の活用に向け、教員の活用指導力の更なる向上に努められたい。

生涯学習課では、市民が安心して快適に利用できる公民館や体育館などの施設整備に加え、多様化する市民ニーズを的確に捉え、より多くの人に参加いただけるよう引き続き内容の充実に努められたい。

岩出図書館では、今後、郷土資料及び寄贈図書等の登録を積極的に行い、資料の充実に努めるとともにコロナ禍を機に開始した電子図書館の利用促進に向け、広報周知に努められたい。

民俗資料館では、民俗資料館は根来寺境内に位置することから、教育及び観光振興の旗振り役として、市内外に向けて広く情報発信し続けるとともに、老若男女問わず歴史、文化を学習できる多様な講座や展示会を開催し、入場者増に繋げるよう努められたい。

これらの意見を以て、点検・評価の目的である「効果的な教育行政の一層の推進」を図られんことを切に願ひ評価委員会の意見書とする。

令和6年10月10日

岩出市教育委員会評価委員会

委員長 村中 隆子

副委員長 松田 晃作

委員 大西 利雄

令和6年度 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主 な 意 見
目標施策	基本施策	
心豊かな人が育つまち	学校環境の充実	☞ 教育総務課 ○ 引き続き学校施設の長寿命化に努められたい。 ○ 経済的理由により、教育を受ける環境等に差が生まれることがないよう支援の更なる充実を図られたい。支援にあたっては、国の要綱等に基づき的確な運用に努められたい。 ○ フレンドの更なる支援の充実と合わせ、フレンドに通室する児童生徒以外の不登校児童生徒の実態把握に努められたい。 ○ 児童生徒及びその保護者の様々な課題の解消に向け、学校運営協議会委員と学校、教育行政がより情報共有、連携し取り組まれたい。 ☞ 生涯学習課 ○ 学校支援地域ボランティア活動事業については、人材の確保に努めるとともに、学校や地域、学校間の交流など引き続き活発な活動に取り組まれたい。
	豊かな学びと学力向上	☞ 教育総務課 ○ 教育でのICT活用の目的である「分かりやすい授業」「学習の効率化」「個別学習・協働学習のサポート」「情報活用能力の向上」「教員の校務における効率化」の実現に向け、教員の横のつながりを強め、活用方法や研修成果の共有と指導力向上に努められたい。 ○ ICTを活用した教育を進めるうえで、児童生徒に対し、情報社会で適正に活動するための基となる考え方や態度（情報モラル）の指導に努められたい。 ○ コロナ渦による基礎体力低下は大きな課題であり、年間を通して運動する機会を創出するとともに陸上競技以外の種目も取り入れるなど創意工夫されたい。 ○ 子供に防犯グッズを持たせて安心するだけではなく、日頃から電池切れや故障していないかなど保護者等による継続的なメンテナンスが必要なことも周知していくこと。
	青少年健全育成の推進	☞ 教育総務課 ○ 防災ジュニアリーダー育成講座を通して学校管理下外や緊急時に臨機応変に対応できる行動力の育成に努められたい。 ○ 職場体験を通して将来、社会人として自立できる力を育めるよう、一次産業を含む幅広い分野の職場体験先の確保に努められたい。 ☞ 生涯学習課 ○ 青少年健全育成事業については、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、引き続き地域ぐるみの見守り活動や啓発活動、イベントの実施等、事業の充実を図られたい。

令和6年度 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主 な 意 見
目標施策	基本施策	
生涯学習できるまち	文化・芸術活動の推進	☞ 生涯学習課 ○ 文化祭事業については、より多くの方、特に若い世代の方にも興味を持って参加してもらえるよう、内容の工夫に努められたい。
	生涯学習の充実	☞ 生涯学習課 ○ 放課後子ども教室については、引き続き安心・安全な子供の居場所の充実に努め、より多くの子供たちに参加してもらえるよう工夫されたい。 ○ 講座や教室については、引き続き市民のニーズを把握するとともに内容の充実に努め、より多くの方に参加いただけるよう工夫されたい。 ☞ 岩出図書館 ○ 図書館事業の充実（図書館運営事業）については、図書館は身近な情報拠点として、市民への読書活動の振興を担っている。 誰もが気軽に立ち寄れる居心地のよい空間づくり等利用環境の向上を図り、多様なニーズに対応した魅力ある事業及びサービスに努められたい。 ○ 図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）については、子供が読書への関心を高められるような活動や読書に親しみやすい講座及び体験活動等と連動した取組等の充実に努められたい。また子供自身が自ら進んで読書を行っていくことができるよう、さらなる読書活動の推進を図られたい。
	生涯スポーツの推進	☞ 生涯学習課 ○ 市民運動会事業、総合スポーツ大会、市マラソン大会事業及びスポーツ教室事業については、引き続き市民のニーズの把握に努め、より多くの方に参加してもらえる内容となるよう工夫されたい。 ○ スポーツ施設運営事業については、施設の安全面を強化し快適に利用できるよう整備を行い、利用者数の増加に努められたい。
さ人 れ権 るが ま尊 ち重	人権尊重の推進	☞ 生涯学習課 ○ 人権教育啓発事業については、人権尊重思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広めるため、引き続き様々なテーマでの講演会の開催や庁内関係部署、各種関係団体と連携した啓発活動に取り組まれたい。 ○ 保護者学級について、積極的な実施に努められたい。

令和6年度 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主 な 意 見
目標施策	基本施策	
歴史を守り文化をつなぐまち	文化遺産の保護・活用	☞ 生涯学習課 ○ 文化遺産保存活用事業については、引き続き文化財所有者や関係機関と連携を図り、文化財の保護に努められたい。 文化遺産を活用した市民への普及・啓発については、これまでの事業をさらに充実させ実施していただきたい。
	国際化の推進	☞ 教育総務課 ○ 岩出市在住の外国人が増加している中、外国人と関わる機会が増えることへの備えとして、児童生徒が外国語指導助手と多くの時間を過ごせるよう取り組まれたい。
	歴史・伝統文化の振興	☞ 生涯学習課 ○ 岩出市の文化資源である根来の子守唄を広く県内外に周知するため、子守唄普及啓発に引き続き努められたい。 ☞ 民俗資料館 ○ 展観事業については、民俗資料館は根来寺境内に位置することから、根来寺（新義真言宗）の歴史に特化した宗教的な部分も必要だが、根来寺は岩出市の歴史・文化のみならず観光の拠点であり、観光振興は市の重点業務の一つと聞いており、観光面に特化した一般受けする展示会も検討されたい。 また、令和5年度において、織田信長等の天下統一を目指した武将等、NHKの大河ドラマと関連付けて根来寺を取り上げた展示会は好評であったことから、アンケート調査を繰り返し実施し、入場者の意見聴取に基づいた展示会の開催と併せ、市内外に広く周知し入場者の増に繋がれたい。 ○ 講座事業については、一定のマニアが定着しているようだが、より広く参加者を集めるためには、アンケート調査等を繰り返し行うことで多様な講座の開催に向け努められたい。 ○ 子ども歴史学習会については、回数を増やし開催してもキャンセル待ちが出るほど、子供たちに大人気であると聞いており、より参加する機会を設けることに努められたい。

○岩出市教育委員会評価等実施要綱

平成21年1月23日

教委告示第1号

(目的)

第1条 この告示は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価（以下「評価等」という。）の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

(基本方針)

第2条 教育委員会は、評価等に際し、合理的な手法を用いて、できる限り定量的に行うものとする。

2 評価等の結果は、長期総合計画に基づく実施計画及び予算に反映させるよう努めるものとする。

(評価等の実施)

第3条 各課長は、教育委員会の点検・評価シート（別記様式。以下「シート」）により、自ら所管する事務事業について毎年評価等を行い、教育長に提出するものとする。

2 教育委員会は、前項の規定により教育長に提出されたシートに検討を加え、自ら評価等を行うものとする。

(委員会)

第4条 教育委員会は、前条第2項の評価を行うに当たり、当該評価の客観性を確保するため、教育委員会評価委員会（以下「委員会」という。）を設けるものとする。

2 委員会は、次に掲げる事項について教育委員会に意見を述べるものとする。

- (1) 教育委員会が実施する評価等
- (2) 評価等の方法、公表及び報告書に関すること。
- (3) その他評価等に関する事項

(組織)

第5条 委員会は、委員3人で構成する。

2 委員は、教育に関し学識経験を有する者の中から教育委員会が委嘱する。

(委員長等)

第6条 委員会に委員長及び副委員長1人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員が互選する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第7条 委員の任期は、2年とする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(評価等の公表)

第8条 教育委員会は、評価等を行った場合は、その結果に関する報告書を作成するものとする。

2 教育委員会は、前項の報告書を議会に提出するとともに、市民にわかりやすい形で公表するものとする。

(市民意見の反映)

第9条 教育委員会は、前条の報告書に関して市民から意見があったときは、その意見を評価等に反映させるよう努めるものとする。

(制度の見直し)

第10条 教育委員会は、評価等を行うに当たり、事務事業の成果を把握する手法その他評価等の方法について、その改善と発展が図られるよう随時見直しを行うものとする。

(雑則)

第11条 この告示に定めるもののほか、評価に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この告示は、平成21年4月1日から施行する。